

基本目標

地域住民と地域のあらゆる団体・組織の主体的な参画と協働により、誰もが安心していきいき暮らせるまちづくり

基本理念

- 一人ひとりが尊重されるまちづくり（人権擁護）
すべての人が人として尊重され、一人ひとりがその人らしい幸せを求め、自立した生活を送ることができるまちづくりを推進します。
- 地域住民が主役になるまちづくり（住民主体）
住民一人ひとりが主体となり、地域の福祉力を高め、地域住民でささえあうまちづくりを推進します。
- 地域のすべてが関わりあうまちづくり（ネットワーク）
住民、ボランティア、福祉施設などの事業所や地域のあらゆる団体・組織が相互理解を深め、お互いが手と手をつなぎ、誰もが共に生きるまちづくりを推進します。

キャッチフレーズ

つながる ひろがる ささえあう

このキャッチフレーズは、社会の変化がもたらす孤立、分断、排除を認識し、人権と社会正義の原則に則り、住民一人ひとりが社会の一員として共に生きる社会の創造を目指すことを表します。

- つながる 人と人、人と社会とのつながりをつくり、強くする
- ひろがる 多様で数多くのつながりや思いを社会にみたく
- ささえあう 一人ひとりがお互いに尊重し、支えとなる

個別支援（安心づくり）

○ 身近な相談窓口		
1 地域生活相談事業	生活支援課	
○ 生活困窮者等に対する支援		
1 自立相談支援事業	生活支援課	
2 就労準備支援事業		
3 家計見直しサポート事業		
4 家計改善支援事業		
5 生活物品支援事業		
6 生活福祉資金貸付事業		
7 民生融金貸付事業		
○ 高齢者に対する包括的な支援		
1 包括的支援事業	高齢者あんしん支援センター	
(1) 総合相談支援業務		
(2) 権利擁護業務		
(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務		
2 一般介護予防事業の一部		
(1) 介護予防把握業務		
(2) 介護予防普及啓発業務		
3 第1号介護予防支援業務・指定介護予防支援業務		
4 地域ケア会議に関する業務		
(1) 地域ケア会議の開催		
(2) 出雲市地域ケア個別会議の開催		
5 その他		
○ 権利擁護を必要とする人に対する支援		
1 日常生活自立支援事業		いずも権利擁護センター
2 法人後見事業		
3 障がい者入居債務保証事業		
4 財産保全サービス事業		
5 市民後見推進事業		
6 いずも権利擁護センター運営委員会等の開催		
7 出雲成年後見センターとの連携強化		

地域支援（地域づくり）

○ 地域住民の主体的な福祉活動の推進	
1 地区社会福祉協議会等活動総合支援事業	地域福祉課
2 地区社会福祉協議会連絡会の開催	

3 ふれあいサロン活動助成事業	
4 地域ふれあい見守りネットワーク事業	
5 福祉団体活動助成事業	
○ 地域住民等の参加と協働による福祉のまちづくりの推進	
1 認知症高齢者等SOSメール安心ネットワーク事業	地域福祉課
2 出雲市生活支援体制整備事業	
3 住民参加型在宅福祉サービス事業	
(1) たすけあいボランティア事業	
(2) すこやか訪問事業	
4 共同募金歳末助け合い事業	
○ 福祉サービスの提供	
1 車いす貸出事業	地域福祉課
2 ガイドヘルプ事業	
○ 社会福祉法人等との連携・協働及び支援等	
1 社会福祉法人による地域貢献活動推進事業	企画課
2 高齢者マッサージサービス事業	地域福祉課
3 団体支援等	
(1) 出雲市民生委員児童委員協議会など社会福祉団体の支援	地域福祉課
(2) 島根県共同募金会出雲市共同募金委員会	総務課
(3) 日本赤十字社島根県支部出雲市地区	
4 その他の事業	地域福祉課
(1) 戦没者追悼事業	
(2) 子育てサロン事業	

人材育成（人づくり）

○ ボランティア活動の促進	
1 ボランティアまちづくりセンターの運営	地域福祉課
2 技術ボランティアの養成	企画課
(1) 手話奉仕員養成講座	
(2) 手話奉仕員フォローアップ研修	
(3) 手話奉仕員レベルアップ講座・手話通訳者養成講習会を目指す学習会	
(4) 要約筆記奉仕員フォローアップ研修	
(5) 点訳奉仕員養成講座	
(6) 広報音訳ボランティアフォローアップ研修	
3 ボランティア活動に参加する人の拡大	
(1) ボランティア講座	

(2) 社会福祉施設ボランティア推進研修会	
○ 福祉教育の推進	
1 福祉教育推進事業	地域福祉課
(1) 福祉教育連絡会	
(2) サマーボランティアスクール	
(3) 福祉学習支援	
(4) あいサポート運動推進事業	
○ 災害時のボランティア活動の支援	
1 災害ボランティアセンターの設置運営	地域福祉課

法人運営

○ 信頼にこたえる法人運営	
1 法人運営事業	総務課
(1) 組織運営	
(2) 経営基盤の確立	
(3) 経営管理の充実	
(4) 関係機関との連絡調整	総務課・企画課
(5) 役職員の研修	企画課
○ 広報啓発活動の推進	
1 出雲市総合社会福祉大会の開催等	企画課
(1) 出雲市総合社会福祉大会の開催	
(2) しまね県民福祉大会への参加	
(3) 各種表彰の候補者の推薦	
2 「社協だよりいずも」の発行	
3 音訳広報・点訳広報発行事業	
(1) 音訳広報発行	
(2) 点訳広報発行	
4 ホームページの運営管理	
5 出雲市民余芸大会の開催	
○ 中期的な計画の推進	
1 地域福祉活動計画推進事業	企画課
○ 災害見舞への取組	
1 災害見舞金事業	総務課
○ 会館管理	
1 会館管理事業	総務課
(1) 出雲市社会福祉センター管理運営事業	
(2) 多伎地域福祉センター管理運営事業	

(3) 平田福祉館管理運営事業	
-----------------	--

社協や福祉に関わる政策等の動向

○ 「地域共生社会の実現」に向けた動き

日本の福祉制度は、高齢、障がい、児童等の対象者ごとに制度が拡充されてきたため、既存の制度では十分な対応が難しい課題を抱える人や制度の狭間にあつて公的な支援を受けることのできない人々も多く、そうした人々を早期に発見し、速やかに必要な支援に確実につなげていくことのできる仕組みを地域の実情に応じて作り上げていくことが求められています。

国においては、「地域共生社会（※1）の実現」を今後の福祉改革を貫く基本コンセプトとして掲げて取組を進めており、市町村には地域を基盤とした包括的な相談支援体制の整備が求められています。

※1 制度・分野の枠や、「支える側」「支えられる側」という従来の関係を超越して、人と人、人と社会とがつながり、一人ひとりが生きがいや役割を持ち、助け合いながら暮らしていくことのできる、包摂的なコミュニティ、地域や社会を創るという考え方。福祉だけでなく、保健、医療など社会保障領域、さらに成年後見制度等の権利擁護、再犯防止・更生支援、自死対策など対人支援領域全体にわたる。

○ 新型コロナウイルス感染症の影響

我が国においては、令和2年1月15日に最初の感染者が確認された後、3月26日までに、合計42都道府県において合計1,349人の感染者、46人の死亡者が確認されました。このように全国的に感染が拡大したことから、3月26日、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき新型コロナウイルス感染症対策本部が設置されました。3月31日には累計感染者数は2,100人を超えるに至りました。

島根県内では、3月31日時点で新型コロナウイルスに感染した人は確認されていませんが、感染予防のための小学校等の臨時休校をはじめ、各種行事の中止や延期、外出自粛などにより日常生活や経済活動に影響を与えています。

本会の取組

○ 中期経営計画に基づく地域福祉の推進

平成30年度からの5年間を計画期間とする第3期中期経営計画に基づき、今まで本会が積み重ねてきたコミュニティソーシャルワーク（※2）の実践である「小地域における住民主体による福祉活動の推進と支援」と「総合相談・生活支援体制の強化」に取り組みました。

※2 地域において生活上の課題を抱える個人や家族に対する個別支援と、それらの人々が暮らす生活環境の整備や住民の組織化等の地域支援をチームアプローチによって統合的に展開する実践。

○ 3本柱による重点事業の推進

事業推進にあたっては、「個別支援（安心づくり）」「地域支援（地域づくり）」「人

材育成（人づくり）」を柱として重点事業に取り組みました。

個別支援（安心づくり）では、生活困窮の状態にある人、高齢者、権利擁護を必要とする人に対する相談・支援及び福祉サービスの提供に最重点に取り組みました。また、地域において何らかの支援を必要としている人や世帯を早期に把握するために、民生委員・児童委員、地域の福祉関係者等とのネットワークの強化を進めました。複数の課題や複合的な課題に対応するため、市とともに多機関の協働による総合的な相談・支援体制づくりに取り組みました。

地域支援（地域づくり）では、生活課題を抱える人が地域社会において自立した生活を送ることができるよう、地域における包括的な支援ネットワークの組織化を進めました。特に、地域において住民が抱えるさまざまな生活課題を地域で受け止める仕組みづくりを進めました。

人材育成（人づくり）では、地域における住民福祉活動を担う、人やさまざまな地域福祉事業に参加・協力する人を広げることを目指して研修事業に取り組みました。また、学校や職場における福祉教育の取組を進めました。

○ 社会福祉法人との連携・協働の強化

地域福祉を推進するパートナーとして、地域における公益的な取組を行うことが責務とされている社会福祉法人との連携・協働の強化に努めました。

○ 財務改革の推進

財務運営にあたっては、財源構成に留意して安定的な財源の確保に努めるとともに、限られた財源で効率的で効果的な事業実施に取り組みました。

平成30年12月に定めた「財務改革の推進方針」に基づき、「2019年度から3年以内に経常収支の赤字を1,000万円以下に圧縮する」を目標に掲げて、収入の確保と支出の削減に取り組みました。

その結果、2019年度の経常収支では、約800万円の赤字に圧縮することができ、「3年以内に達成」としていた目標を初年度に達成することとなりました。今後はこの流れを継続することが大切となります。

○ 経営管理体制と組織運営の強化

法人経営にあたっては、会長と常務理事が常勤する体制を継続するとともに、理事会、正副会長会の適宜開催、評議員会の適正な運営、監事による厳正な監査の実施など経営管理体制の強化に取り組みました。

また、法人運営上のさまざまなリスクに適切に対応できるよう、規程の整備などリスク管理の取組を進めました。

事務局組織や職員配置は、限られた職員で最大の成果を上げることができるよう、適材適所の職員配置に努め、研修等により職員の資質・意欲の向上を図りました。特に、これからの出雲市社協を担うことになる中堅職員を2グループに分け「経営管理」をテ

ーマに掘り下げる研修を実施し、多くの成果が得られました。職員の横つながりを強化する動きや、自主的な研修の取組もこれを契機に生まれました。

市健康福祉部等と合同協議を開催し、地域福祉を推進するパートナーとして、市との組織的で対等なパートナーシップの確立・強化に取り組みました。

本会の役割や存在意義が幅広い年代の地域住民に伝わり、理解されるよう、特に若い世代に向けた広報活動を工夫しました。

○ 新型コロナウイルス感染症への対策

新型コロナウイルス感染症への対策を法人経営上のリスク管理に位置づけ、感染予防などに取り組みました。

個別支援（安心づくり）

地域において福祉サービスを必要とする人や世帯を把握し、相談に応じるとともに課題解決を図るための支援を行いました。また、課題解決のために福祉サービスを提供しました。

○身近な相談窓口（生活支援課）

地域の身近な相談窓口として、広く住民の生活上の悩みごとや心配ごとの相談に応じました。

1. 地域生活相談事業

住民が抱えるさまざまな生活上の問題について広く相談に応じ、必要に応じて弁護士による無料法律相談につなげ、本会の各部署や他の相談機関等と連携を図りながら、問題解決に取り組みました。

(1) 一般相談

①一般相談員 8人

②実施状況 開設回数165回、相談件数206件

	出雲	平田	斐川	合計
開設回数	141	12	12	165
相談件数	174	12	20	206

③分野別相談件数

分野	件数	分野	件数	分野	件数
生計	21	健康・保健・衛生	1	教育・青少年	2
年金	1	医療	4	障がい者（児）福祉	0
職業・生業	5	精神保健	2	母子福祉・父子福祉	0
住宅	13	人権・法律	27	老人福祉	3
家族	20	財産	50	苦情	17
結婚	1	事故	1	その他	16
離婚	22	児童福祉・母子保健	0	合計	206

(2) 法律相談

①実施状況 開設回数48回、相談件数156件

(3) 相談員研修会

一般相談員を対象に研修会を開催し、相談対応の資質向上を図りました。

日時 令和元年12月5日（火）

会場 出雲市福祉センター 32号室
 講師 眞田 美紀（島根県立心と体の相談センター）
 内容 ひきこもり状態の方への相談支援
 参加者 10人（一般相談員8人 事務局2人）

○生活困窮者等に対する支援（生活支援課）

生活支援・相談センターを開設し、生活困窮等の課題を抱える人に対し、広く相談に応じました。生活困窮者の自立と尊厳の確保を目指すとともに、包括的な自立支援にむけて関係機関と連携し、共に支え合う地域づくりを推進しました。

1. 自立相談支援事業

経済的困窮や社会的孤立など様々な課題を抱える人からの相談に応じ、関係機関等と連携を図りながら、一人ひとりの状況に合わせて、包括的、継続的に支援を行いました。

(1) 新規相談受付・申込の状況

新規相談受付・申込件数
237

①地域別人数

出雲	平田	佐田	多伎	湖陵	大社	斐川	不定	市外	合計
116	62	5	8	5	11	23	2	5	237

②性別人数

男性	女性	合計
136	101	237

③年代別人数

20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	合計
11	16	25	62	47	37	39	237

④住居の状況

持家	借家	賃貸アパート、マンション	会社の寮、借上住宅	公営住宅	野宿	その他	不明	合計
95	9	59	8	20	1	8	37	237

⑤ 主訴（重複あり）

主訴	件数	主訴	件数
----	----	----	----

病気・健康・障がい	59	仕事上の不安やトラブル	13
住まい	43	地域の関係	6
収入・生活費	153	家族関係・人間関係	22
家賃・ローン	61	子育て	7
税金・公共料金支払い	39	介護	13
債務	38	引きこもり・不登校	8
仕事探し、就職	51	食べるものがない	15
DV・虐待	1	その他	31
		合計	560

(2) 相談者に対する緊急一時的支援の実施状況

緊急一時的支援件数

支援内容	件数
食料支援	140
緊急現金貸付（民生融金）	18
生活用品提供	16

(3) プランの策定状況

支援調整会議を毎月1回開催し、支援対象者の自立支援が円滑に図れるようなプランであるか、関係者の意見を聞き、支援の方針を確認し決定しました。

①支援決定・確認件数

初回プラン	再プラン	合計
23	2	25

②評価実施件数

終結	再プランして継続	合計
14	2	16

(4) 支援の状況

- ・相談支援後の就労者及び収入増収者数（就労者7件、増収者3件）
- ・住居確保給付金の利用（1件）
- ・生活保護受給者等就労自立促進事業の利用におけるハローワークとの連携（7件）

(5) 広報・啓発

①生活困窮者自立支援制度啓発セミナー

制度への理解や生活困窮者支援に関する取り組みについて住民や関係機関へ

広く周知することを目的に開催しました。

日 時 令和2年2月28日（金）

会 場 出雲市民会館

内 容 「新たな制度展開と多様な取り組み」

～生活困窮者一人ひとりを社会的なつながりで支援する～

講 師 島根大学法学部法経学科 教授 宮本恭子氏

参加者 100人

②その他

- ・新任民生委員児童委員及び主任児童委員研修会 事業説明

令和2年1月22日（水）

(6) 研修・会議

- ・職員の資質向上のために、外部研修に参加（参加回数16回）
- ・関係機関との連携に関わる会議に参加（参加回数15回）

2. 就労準備支援事業

一般就労に向けて準備が整っていない生活困窮者並びに生活保護受給者に対して、就労意欲の喚起やその動機づけを行い、生活習慣の改善やコミュニケーション能力の向上、基礎能力の形成が図れるよう支援を行いました。

- ・就労準備支援事業利用 3件、認定就労訓練事業利用 0件
（インターンシップ及び職業体験の実施）
- ・事業説明及びボランティア・職場体験の協力依頼（協力事業所 28件）
- ・就労準備事業協力事業所の開拓
- ・被保護者就労準備支援事業の実施 1件

3. 家計見直しサポート事業

経済的に困窮している方等の家計の安定を図るため、家計の見直しについて支援を行いました。

- ・利用件数 9件（令和元年9月末まで）※令和元年9月末で事業廃止

4. 家計改善支援事業

令和元年10月より事業を開始しました。家計収支の均衡が取れていないなど、家計に課題を抱える相談者世帯に対して、家計の状況を理解できるよう見える化を図り、状況に応じた家計再生プランを作成することで、相談者の家計管理能力を高めていく支援を行いました。

- ・家計改善支援事業利用 3件
- ・事業案内リーフレット作成（100部）

5. 生活物品支援事業

現に経済的に困窮している人に対し、生活が安定するまでの期間、必要な生活物品の貸出を行いました。

- ・貸出利用件数 3件

6. 生活福祉資金貸付事業

他の貸付制度が利用できない収入が少ない世帯、あるいは高齢者や障がい者のいる世帯に対し、経済的自立や生活意欲の助長などを図るため、生活福祉資金の貸付を行いました。

(1) 貸付決定状況

①件数／金額 75件／26,823,701円

資金種類	件数	金額
総合支援資金	5件	1,311,322円
うち、特例総合支援資金	1件	400,000円
福祉資金	45件	11,579,379円
うち、緊急小口資金	13件	1,263,000円
うち、特例緊急小口資金	14件	2,060,000円
教育支援資金	25件	13,933,000円
不動産担保型生活資金	0件	0円
合計	75件	26,823,701円

7. 民生融金貸付事業

収入が少ない世帯等に対して、緊急で一時的に生活の維持が困難な場合に3万円を上限に貸付を行い、自立した生活に向けて支援を行いました。

また、特に急迫状態にある場合には、緊急現金を貸し付けることにより、ライフライン等の確保を行いました。

(1) 貸付決定状況

①件数／金額 66件／1,158,000円

	件数	金額		件数	金額
出雲	44	800,000	湖陵	0	0
平田	16	245,000	大社	2	41,000
佐田	0	0	斐川	3	52,000
多伎	1	20,000	合計	66	1,158,000

②資金使途別の件数・金額

使途	件数	金額
生活保護のつなぎ	34	719,000
生活福祉資金のつなぎ	2	31,000
年金のつなぎ	5	66,000
緊急現金貸付	18	160,000
その他	7	182,000
合計	66	1,158,000

(2) 償還状況

- ・償還完了件数 55件
- ・償還中件数 54件
- ・償還残額 868,700円

○高齢者に対する包括的な支援（高齢者あんしん支援センター）

出雲市内全域のセンター業務を本会が一括して受託していることから、社会福祉協議会としての地域福祉・個別援助の機能を発揮し業務の運営にあたりました。

なかでも、地域住民自らが地域における様々な生活課題の把握や問題解決にむけての取組ができるように支援を行いながら、さらには地域内の関係機関との連携を図り、状態変化に応じた生活ができるよう地域包括ケアの推進にあたりました。

1. 包括的支援事業

(1) 総合相談支援業務

①地域包括支援ネットワーク構築

- ・民協定例会への出席：66回
- ・地域密着型サービス運営推進会議への出席：233回
- ・その他：45回

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・稗原ミニデイ打合せ会 ・川跡地区オリエンテーション ・今市地区健康福祉部会議 ・出雲警察署との協議 ・高浜地区人権フェスティバル打合せ(2回) ・四絡介護のつどい ・朝山地区有償ボランティア世話人代表者会(5回) ・介護の入門講座 ・今市地区協議 ・高浜人権フェスティバル |
|--|

- ・在宅医療座談会（高西百寿会）（2回）
- ・今市地区自治協会定例会
- ・在宅医療座談会（四絡介護者のつどい）
- ・在宅医療座談会（松寄下西寿会）
- ・かんの里研究発表会
- ・オレンジサポーター養成講座（明治安田生命）
- ・オレンジサポーター養成講座（ティーエスアルフレッサ）
- ・在宅医療座談会（揚東サロン）
- ・今市地区社協座談会
- ・ひらたケアミーティング
- ・在宅医療座談会（久多美地区社協）
- ・佐田地域見守りネットワーク連絡協議会での高齢者虐待啓発
- ・高齢者クラブ総会・在宅医療座談会（須佐）
- ・湖陵地域健康づくり推進員連絡会
- ・湖陵地区社協総会
- ・湖陵地区高齢者クラブ若手委員会
- ・窪田高齢者クラブ
- ・大池サロン
- ・佐田1人暮らし給食会
- ・介護予防サポーター養成講座
- ・佐田多伎湖陵保健師会
- ・宇龍地区サロン
- ・民児協研修打合せ
- ・民児協高齢者障がい者部会研修会
- ・野の花サロン促進事業打合せ
- ・サンキウエルビィ虐待研修
- ・オレンジサポーター養成講座（サンキ）
- ・民児協女性のつどい

②実態把握件数：1, 012件

③総合相談件数：8, 172件（新規：1, 645件、継続：6, 527件）

（2）権利擁護業務

- ①成年後見に関する相談対応件数：27件
- ②老人福祉法措置の支援：10件
- ③高齢者虐待対応件数：78件
- ④困難事例対応件数：306件

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

- ①介護支援専門員に対する個別支援件数：356件
- ②介護支援専門員のネットワーク構築・支援に関する業務
 - ・居宅介護支援専門員事業者研修会：3回
 - ・その他：3回

2. 一般介護予防事業の一部

(1) 介護予防把握業務

地域の関係者とのネットワークや訪問活動を通して、閉じこもり等介護予防が必要な高齢者の把握を行いました。

(2) 介護予防普及啓発業務

- ①啓発活動
 - ・サロン : 21回
 - ・自主グループ : 19回
 - ・高齢者クラブ : 3回
 - ・その他 : 10回
- ②自主グループ立ち上げ・運営支援 : 69回

3. 第1号介護予防支援業務・指定介護予防支援業務

- ①介護予防支援件数：16,503件（うち委託6,676件）
- ②介護予防ケアマネジメント件数
 - ・現行相当サービス利用分：8,777件（うち委託2,520件）
 - ・多様なサービス利用分 : 2,370件（うち委託497件）
- ③その他対応件数（住宅改修のみ、用具購入のみ）：103件

4. 地域ケア会議に関する業務

(1) 地域ケア会議の開催

- ①個別ケース会議 : 51回
- ②地域ネットワーク会議 : 7回

(2) 出雲市地域ケア個別会議の開催

出雲市地域ケア個別会議 : 11回

5. その他

(1) 各種会議

- ①内部会議
 - ・あんしん支援センター連絡会 : 12回
 - ・各センター会議 : 60回
 - ・職種別会議 : 32回

②外部会議

- ・地域包括支援センター運営検討会： 2回
- ・生活支援体制整備事業定例会： 7回
- ・認知症初期集中支援チーム： 14回
- ・その他

- ・出雲市介護保険運営協議会(3回)
- ・出雲市介護保険運営協議会地域支援部会(2回)
- ・養護老人ホーム入所判定会(5回)
- ・出雲市認知症高齢者支援強化検討会(2回)
- ・出雲市自立支援協議会サービス調整会議(2回)
- ・自立支援協議会つながる専門部会(3回)
- ・出雲地域介護支援専門員協会総会
- ・出雲地域精神保健福祉協議会
- ・県認知症施策検討委員会
- ・出雲市在宅医療・介護連携推進会議(2回)
- ・青壮年期・高齢期健康づくりネットワーク会議
- ・食育推進ネットワーク会議
- ・総合相談体制構築検討ワーキンググループ(5回)
- ・出雲市生活支援体制整備推進協議体
- ・認知症コールセンター運営委員会
- ・出雲警察署との連絡会
- ・島根県包括支援センターセンター長会
- ・市健康福祉部と市社協との話し合い
- ・出雲市高齢者配食サービス事業選定委員会
- ・事前連絡会議(障がいから介護への移行)(4回)
- ・市保健師とあんしん保健師の連絡会
- ・地域包括ケアフォーラム打合せ(3回)
- ・市配食サービス説明会
- ・地域包括口腔ケア会議
- ・あんしん支援センター評価についての協議(2回)
- ・あんしんノートに関する協議(4回)
- ・出雲市地域ケア個別会議運営に関する協議(5回)
- ・総合相談体制構築に関するヒアリング
- ・低栄養改善・食支援に関する専門職派遣事業協議(2回)
- ・出雲医療看護専門学校実習打合せ会
- ・出雲医療看護専門学校実習対応(4回)
- ・県立大学フィールド学習
- ・トリニティカレッジ見学実習対応

- ・島根県ケーブルテレビ番組協力
- ・居宅介護支援事業者研修会に関する協議
- ・介護支援専門員実務研修打合せ
- ・ふれあいサロン研修会
- ・介護支援専門員資質向上事業研修委員会専門部会
- ・島根大学宮本教授ヒアリング（8050 問題）

（2）職員研修

①内部研修

- ・社協職員全体研修「個別支援の事例、発表、講義」
- ・メンタルヘルス研修
- ・あんしん職員研修「自分の仕事を振り返りみんなでつぶやこう」
- ・人権研修

②外部研修

- ・在宅療養懇話会（2）
- ・出雲認知症懇話会研修会（3）
- ・平田地域福祉研修協議会総会及び研修会
- ・安全運転管理者講習
- ・主任介護支援専門員更新研修
- ・認知症地域医療連携会議
- ・サポート医フォローアップ研修会
- ・広島県地域包括・在宅介護支援センター協議会基礎研修
- ・コミュニティソーシャルワーク実践基礎研修
- ・いずも糖尿病合同カンファレンス（2）
- ・出雲圏域重症難病患者に係る介護支援専門員研修会（2）
- ・主任介護支援専門員研修
- ・認知症研修会
- ・介護支援専門研修兼更新研修（実務経験者）「専門課程Ⅱ」
- ・日本健康福祉政策学会学術INひさやま
- ・アルコール関連問題関係者会議
- ・主任ケアマネジャーミーティング
- ・地域支え合いフォーラム「ホンモノの支え合いってなんだろう」
- ・DV関係支援者研修会
- ・高齢者の自立支援・介護予防推進研修会
- ・出雲市在宅医療・介護連携推進のための事例検討会（2）
- ・認知症ケア・フォーラムINいずも

- ・安管大社支部研修会
- ・若年性認知症をはじめとした治療と仕事の両立支援セミナー
- ・出雲圏域在宅療養における低栄養改善・食支援対策研修会
- ・出雲市障がい者施策推進協議会つながる専門部会「介護支援専門員との共同研修」
- ・若年性認知症の人を支える～当事者会と研修会～
- ・生活困窮者自立相談支援人材養成研修（専門研修Ⅰ）
- ・生活困窮者自立支援セミナー

○権利擁護を必要とする人に対する支援（いずも権利擁護センター）

いずも権利擁護センターにおいて、さまざまな権利侵害を受けやすい認知症・知的障がい・精神障がいなどの理由で判断能力が不十分な人たちが地域において安心して生活できるよう、相談から援助まで一元的に行いました。

1. 日常生活自立支援事業

利用者に対して福祉サービスの利用援助や生活支援を行うとともに本事業の利用促進を図りました。

複合的なニーズを抱える多問題世帯への対応が増えるなか、相談受付から支援に関する専門員のスキルアップを図るとともに、生活支援員の人員確保及び資質の向上に取り組みました。

① 相談件数 7, 172件

高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
2, 294	1, 501	3, 021	356	7, 172

② 利用件数 118件

高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
29	26	57	6	118

※新規利用者8人 終了件数10件

③ ケース会議 166回

高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
50	25	70	21	166

④ 生活支援員連絡会、研修会

生活支援員を対象に連絡会、研修会の企画実施及び外部研修会等への派遣

を行い、活動上の問題への共通認識や知識と技術の習得を図り、支援活動における質の向上に努めました。

(第1回)

実施日 令和元年6月20日(木)

会場 出雲市社会福祉センター

内容 ・研修内容「あいサポート」

- ・事務局説明 ①いずも権利擁護センター事業計画について
- ②日常生活自立支援事業の進捗状況について

参加者 15人

(第2回) ※県社協主催

実施日 令和元年9月6日(金)

会場 いきいきプラザ島根

内容 ・事務局説明「日常生活自立支援事業の現状」

説明者：島根県社会福祉協議会生活支援部

・活動事例報告

飯南町社会福祉協議会、出雲市社会福祉協議会

参加者 11人

(第3回)

実施日 令和元年10月30日(水)

会場 出雲市社会福祉センター

内容 ・講義「意外と知らない病院・病棟のあれこれ」

・グループワーク「事例検討」

講師 出雲市総合医療センター

地域医療連携室 社会福祉士 西尾和子氏

参加者 15名

(第4回)

実施日 令和元年12月18日(水)

会場 出雲市社会福祉センター

内容 ・講義「意外と知らない福祉施設のあれこれ」

・グループワーク「事例検討」

講師 出雲市総合医療センター

地域医療連携室 社会福祉士 西尾和子氏

参加者 15名

⑤ 啓発

○新任民生委員児童委員及び主任児童委員研修会

令和2年1月22日(水)

○地区社会福祉協議会研修会

- ・湖陵地区社会福祉協議会 令和元年7月24日(水)
- ・高松地区社会福祉協議会 令和2年2月1日(土)
- ・塩冶地区社会福祉協議会 令和2年2月15日(土)
- 福祉施設研修会
 - ・グループホーム北陽 令和元年9月27日(金)

2. 法人後見事業

法人後見受任ケースに対する適正な財産管理と身上監護に努めました。

また、随時、成年後見制度に関する相談に応じ、制度の啓発に努めました。

① 受任件数 10件

類型	受任 件数	区 分					
		高齢者		知的障がい者		精神障がい者	
		在宅	施設等	在宅	施設等	在宅	施設等
補助	0	0	0	0	0	0	0
保佐	4	0	1	0	2	1	0
後見	6	0	0	0	3	1	2
合計	10	0	1	0	5	2	2

② 法人後見業務件数 661件

	高齢者	知的障がい者	精神障がい者	合計
財産管理	23	159	186	368
身上監護	34	136	123	293
合計	57	295	309	661

③ 相談・支援件数 13件

高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
5	1	4	3	13

④ 法人後見受任審査委員会の開催

家庭裁判所より推薦依頼を受け、案件の検討をしました。

(第1回)

実施日 令和元年10月29日(火)

会 場 出雲市社会福祉センター

内 容 受任案件(1件)

(第2回)

実施日 令和2年3月16日(月)

会 場 出雲市社会福祉センター

内 容 受任案件（1件）

3. 障がい者入居債務保証事業

障がい者の社会復帰の促進や地域生活の継続が可能となるように、一般住宅へ入居する際の債務保証を行いました。また、関係機関等への周知及び連携を図りました。

① 相談・支援件数 51件

身体障がい者	知的障がい者	精神障がい者	その他 (関係機関等)	合計
1	2	47	1	51

② 利用件数 10件

身体障がい者	知的障がい者	精神障がい者	合計
3	2	5	10

③ 入居債務保証引受等審査委員会の開催

本人より利用申請を受け、案件の検討をしました。

実施日 令和2年1月20日（月）

会 場 出雲市社会福祉センター

内 容 審査案件（1件）

4. 財産保全サービス事業

高齢や障がいなどにより、自分で財産の保管が困難な方に対して、本人に代わって財産を銀行の貸金庫に保管し、安心して生活ができるよう支援を行いました。

利用件数 3件

高齢者	身体障がい者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
0	0	3	0	0	3

5. 市民後見推進事業

市民後見人への活動支援に取り組みました。市民後見人バンク登録者には活動の場を提供するとともにフォローアップ研修を企画し、モチベーションの維持と資質の向上を図りました。

また、成年後見制度をより多くの方に理解していただくために普及啓発に努めました。

①市民後見人への活動支援

市民後見人の活動や抱える課題等に対して助言や支援を行いました。

1) 活動支援

相談・助言・支援会議及び検討会・同行支援等、随時対応しました。

2) 任意後見監督の立ち合い

開催日 令和元年 5月10日(金)
令和元年 6月27日(木)
令和元年11月18日(月)
令和2年 2月13日(木)
令和2年 3月17日(火)

会場 出雲市役所

3) リスク管理

「成年後見賠償責任保険」の加入

②市民後見人バンク登録者(17人)の活動の場の提供

日常生活自立支援事業の生活支援員として4人、法人後見事業の法人後見支援員として2人に活動の場を提供しました。

③市民後見人バンク登録者フォローアップ研修会の開催

(第1回)

実施日 令和元年10月30日(水)

会場 出雲市社会福祉センター

内容 ・講義「意外と知らない病院・病棟のあれこれ」
・グループワーク「事例検討」

講師 出雲市総合医療センター

地域医療連携室 社会福祉士 西尾和子氏

参加者 6名

(第2回)

実施日 令和元年12月18日(水)

会場 出雲市社会福祉センター

内容 ・講義「意外と知らない福祉施設のあれこれ」
・グループワーク「事例検討」

講師 出雲市総合医療センター

地域医療連携室 社会福祉士 西尾和子氏

参加者 4名

④ 成年後見制度普及啓発

○「社協だよりいずも」(令和元年10月発行号)に掲載。

○地区社会福祉協議会研修会

・湖陵地区社会福祉協議会 令和元年7月24日(水)

・高松地区社会福祉協議会 令和2年2月 1日(土)

・塩冶地区社会福祉協議会 令和2年2月15日（土）

○福祉施設研修会

・グループホーム北陽 令和元年9月27日（金）

⑤ その他

・出雲市、出雲成年後見センターと市民後見人の活動に関する協議等の実施
（随時）

6. いずも権利擁護センター運営委員会等の開催

いずも権利擁護センターの適正な運営を図るため、運営委員から指導・助言を受けました。

実施日 令和元年6月6日（木）

出席者 運営委員10人（運営委員13人）、事務局4人

内 容 ・平成31年度事業の実施状況について
・令和元年度事業計画について
・成年後見制度利用促進に向けて

7. 出雲成年後見センターとの連携強化

出雲成年後見センターとの連携により、双方が成年後見活動を行うにあたって必要な情報提供等を行いました。

- ・出雲成年後見センター定例会及び研修会への参加
- ・出雲成年後見センター運営委員会への参画（随時）

地域支援（地域づくり）

課題解決に向けて当事者を含めた地域住民等によるネットワークの組織化を図り、必要に応じて新たな援助を行うことができる地域社会（福祉コミュニティ）づくりに取り組みました。

○地域住民の主体的な福祉活動の推進（地域福祉課）

地域住民の主体的な取組により、地域住民が相互に交流する場を拡げ、福祉サービスを必要としている人や世帯を発見し、課題解決を図る活動や相談支援機関等につないでいく仕組みづくりを進めました。

1. 地区社会福祉協議会等活動総合支援事業

住民によって組織された41地区の地区社会福祉協議会等で実施する福祉活動に対して助成しました。また、住民が主体的に地域福祉活動を展開されるよう次の重点活動を中心に支援しました。

外国にルーツを持つ子どもとの関わり持つ活動や子どもの居場所づくりなど、地域の特性やニーズに即した活動がみられました。

- ・福祉の問題を早期に発見し、早期に問題解決していくための、相談所の設置（拠点型）や声かけ訪問活動（アウトリーチ型）。
- ・地域で孤立することを防ぐための、子どもの居場所づくりやふれあいサロン活動（別助成事業）。
- ・住み慣れた地域での在宅生活をより豊かにするための、地域住民による助け合い活動。

①事業実施団体数

助成区分		出雲	平田	佐田	多伎	湖陵	大社	斐川	合計
1. 高齢者の健康と福祉を高める活動	見守り・声かけ活動	10	5	1	0	1	0	0	17
	生活応援活動	2	0	0	0	0	0	0	2
	認知症になっても安心して暮らせるまちづくり活動	6	4	0	2	1	1	1	15
	その他高齢者活動	13	11	1	1	1	5	3	35
2. 心身に障がいをもつ人の福祉を高める活動		8	1	0	0	0	0	3	12
3. 子どもを健やかに育てる活動	子どもの居場所づくり	2	1	0	2	0	0	0	5
	子育てサロン活動	12	2	0	1	0	1	3	19
	子どもの遊び場補修及び新設事業	3	2	0	0	0	2	0	7
	その他子ども対象活動	12	10	2	2	2	3	6	37
4. ボランティアの発掘及び育成のための活動	世話やきボランティア養成講座	5	5	1	0	0	3	0	14
	地区独自の活動	10	3	0	3	1	2	0	19
5. 広報啓発	地区社協だより発行事業	16	10	1	1	1	4	1	34

のための活動	住民座談会	2	0	0	0	0	5	0	7
	その他広報啓発活動	4	2	1	1	0	0	0	8
6. 福祉活動計画を作成するための活動		0	1	0	0	0	0	0	1
7. その他地域福祉活動	地域支え合い研修会	1	0	1	0	0	0	0	2
	相談所設置事業	2	0	0	0	0	0	0	2
	拠点整備事業	2	0	0	0	0	2	1	5
	地区独自の事業	2	0	0	0	0	0	0	2

②助成団体数／助成金交付額 41団体／14,300,504円

	団体数	助成金額		団体数	助成金額
出雲	16	6,731,771円	湖陵	1	389,000円
平田	11	3,113,336円	大社	5	1,705,653円
佐田	1	689,000円	斐川	6	1,274,744円
多伎	1	397,000円	合計	41	14,300,504円

2. 地区社会福祉協議会連絡会の開催

地区社会福祉協議会との連絡会を開催し、地区での住民福祉活動の推進等について意見交換や情報交換を行いました。

〔出雲〕

(出雲地域地区社会福祉協議会会長会)

【会長会定例会】

(第1回) 実施日 令和元年5月24日(金)

会 場 出雲市社会福祉センター

参加者 16地区(16人)

内 容 ・平成30年度事業報告・決算について
 ・令和元年度事業計画・予算(案)について
 ・令和元年度福祉委員活動促進事業について

(第2回) 実施日 令和元年10月3日(木)

会 場 出雲市社会福祉センター

参加者 15地区(15人)

内 容 ・令和元年度先進地視察研修について
 ・令和元年度福祉委員ボランティア全体研修会について
 ・令和元年度福祉委員活動促進事業について

【会長・事務局長会議】

(第1回) 実施日 令和元年7月17日(水)

会 場 出雲市社会福祉センター

参加者 16地区(32人)

- 内 容 ・ 令和元年度先進地視察研修について
 ・ 地区社協活動の情報交換（大津・塩治・高浜・乙立・神門）
 ・ 取り上げたいテーマによる意見交換（上津・神西）
 ・ 総会資料及び社協だよりの交換
- (第2回) 実施日 令和元年12月5日(木)
 会 場 出雲市社会福祉センター
 参加者 16地区(33人)
 内 容 ・ 出雲市医療介護連携課からのお知らせ
 ・ 令和2年度地区社会福祉協議会等活動総合支援事業について
 ・ 令和2年度ふれあいサロン事業について
 ・ 意見交換

【視察研修】

実施日 令和元年11月25日(月)～11月26日(火)
 行き先 京都市山科区 NPO法人山科醍醐こどものひろば
 参加者 14人

※平田地域福祉のまちづくり協議会との合同視察研修会

【令和元年度福祉委員活動促進事業】

出雲地域の福祉委員等の活動の向上を目的に助成金の交付を行い、各ブロックにおいて下記の事業に取り組みました。

- ・ 中央ブロック地区社協（今市・大津・塩治・高松）
 開催日：令和元年11月12日（火）
 事業名：中央ブロック福祉委員研修会「障がい者スポーツを理解しよう～誰でもアスリート体験～」
- ・ 北部ブロック地区社協（川跡・高浜・鳶巣・四絡）
 開催日：令和元年11月15日（金）
 事業名：北部ブロック地区社会福祉協議会合同研修会
- ・ 南部ブロック地区社協（上津・稗原・朝山・乙立）
 開催日：令和元年11月9日（土）
 事業名：令和元年度南部福祉大会
- ・ 西部ブロック地区社協（古志・神門・神西・長浜）
 開催日：令和元年11月11日（月）
 事業名：西部ブロック福祉委員研修会

[平田]

(平田地域福祉のまちづくり協議会)

- (第1回) 実施日 令和元年5月24日(金)
 会 場 平田福祉館

	参加者	11地区(17人)
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・令和30年度まちづくり協議会事業報告・収支決算並びに監査報告について ・令和元年度出雲市社会福祉協議会事業計画・予算概要について ・平田地域各地区社協・福祉団体等への助成金等交付状況について ・ひらた福祉フェスティバル開催終了について ・社協一般会費・賛助会費の取りまとめのお願いについて ・地域支え合い研修会のご案内について ・介護の入門的研修のご案内について
(第2回)	実施日	令和元年7月26日(金)
	会場	平田福祉館
	参加者	11地区(19人)
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・役員を選任について ・共同募金について ・地区慰霊祭について ・ひらた福祉フェスティバルについて ・視察研修会について
(第3回)	実施日	令和元年11月28日(木)
	会場	平田福祉館
	参加者	11地区(16人)
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・歳末たすけあい事業について ・地区社会福祉協議会助成事業について ・視察研修の報告について ・出雲市民余芸大会前売り券購入のお礼 ・平田福祉館利用者アンケートのご協力をお願い
(第4回)	実施日	令和2年3月19日(木)
	会場	平田福祉館
	参加者	11地区(16人)
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度平田地域福祉のまちづくり協議会事業計画(案)並びに予算(案)について ・日赤会費の募集について ・令和2年度平田地域戦没者追悼式の開催中止について
【視察研修】	実施日	令和元年11月25日(月)～11月26日(火)
	行き先	京都市山科区 NPO法人山科醍醐こどものひろば
	参加者	14人

※出雲地域地区社会福祉協議会会長会との合同視察研修会

[佐田・多伎・湖陵]

(地区社協会長・事務担当者会)

実施日 令和元年12月25日(水)

会 場 湖陵福祉センター

参加者 3地区(8人)

内 容 ・令和元年度地区社協等活動総合支援事業報告について
・令和2年度事業計画、申請について
・意見交換

[大社]

(地区社協連絡会)

(第1回) 実施日 令和元年7月26日(金)

会 場 大社行政センター

参加者 5地区(10人)

内 容 ・平成30年度連絡会会務報告について
・令和元年度連絡会事業計画について
・平成30年度ふれあいサロン大社5地域の実施状況
・地区社会福祉協議会総合支援事業について
・令和元年度地域ふれあいフォーラムについて
・日常生活自立支援事業について
・令和元年度赤い羽根共同募金運動街頭募金について

(第2回) 実施日 令和元年12月6日(金)

会 場 大社行政センター

参加者 5地区(9人)

内 容 ・令和2年度地区社協活動等総合支援事業について
・令和2年度ふれあいサロン事業について
・令和2年度地区社協活動等活動総合支援事業・ふれあいサロン事業の今後の流れについて
・ふれあいサロン研修会について(ご案内)
・遥堪地区の買い物・家事代行サービスについて

[斐川]

(地区社協会長連絡会)

(第1回) 実施日 令和元年5月14日(火)

会 場 斐川支所

参加者 6地区会長(6人)

内 容 ・平成31年度各地区社会福祉協議会の事業計画等について(平成30年度の事業の反省を交えて)
・地区社協活動助成金について

- ・平成30年度地区社協等活動総合支援事業について
- (第2回) 実施日 令和元年9月18日(水)
- 会 場 斐川支所
- 参加者 5地区会長(5人)
- 内 容 ・地区社協等活動総合支援事業の進捗状況及び今後の流れについて
 - 決算書の書き方について
 - 課題についての意見交換
- (第3回) 実施日 令和元年12月9日(月)
- 会 場 斐川行政センター
- 参加者 6地区会長(6人) 事務局(6人)
- 内 容 ・市社協と地区社協の違いについて
 - ・令和2年度地区社協等活動総合支援事業について
 - 各提出書類の様式について
 - ・令和元年度の寄付金状況について
 - ・一人暮らし高齢者の餅つき交流会について
- (第4回) 実施日 令和2年2月27日(木)
- 会 場 斐川行政センター
- 参加者 6地区会長(6人) 事務局(6人)
- 内 容 ・地区社協等活動総合支援事業について
 - 令和元年度の事業報告
 - 交付申請書の提出
 - ・地区社協活動助成金について
 - 令和元年度実績報告書・決算書
 - 令和2年度交付申請書及び計画書・予算書
 - ・令和元年度地区社協活動について

3. ふれあいサロン活動助成事業

住民主体の高齢者の集いの場づくりを促進しました。身近な場所での仲間づくりの活動や交流を通し、社会参加や介護予防などの健康づくりを進めました。定期的な開催を働きかけ94のサロンが月1回以上の開催となりました。

また、ふれあいサロン活動を行う団体やこれからふれあいサロン活動を行う予定の団体を対象に研修を行いました。

①助成団体数・助成金額 58団体 23,320,666円

地域	団体数	助成金額	地域	団体数	助成金額
出雲	16	9,269,052円	湖陵	5	1,068,000円
平田	11	5,254,033円	大社	5	2,273,074円

佐田	13	1,723,000円	斐川	7	3,533,507円
多伎	1	200,000円	合計	58	23,320,666円

②各地域のサロン数、参加人数、年間平均開催数（実績）

	出雲	平田	佐田	多伎	湖陵	大社	斐川	合計
サロン数	197	62	13	13	6	52	21	364
参加人数 (延べ)	23,154	9,887	1,673	2,247	1,476	5,099	5,342	48,878
年間平均 開催数	6.6	11.2	8.9	11.5	21.6	6.8	12.7	8.2 (平均)

③サロン研修会の開催状況

[全域]

実施日 令和元年12月20日（金）

参加者 161人

内 容 事業説明、事例発表、サロンで実践できる体操・レクリエーション

[平田]

実施日 令和2年1月21日（火）

参加者 17人

内 容 ふれあいサロン座談会

[佐田]

実施日 令和2年3月13日（金）

参加者 26人

内 容 口腔ケア研修と口の体操

[湖陵]

実施日 令和2年3月6日（金）

参加者 11人

内 容 ふれあいサロンで実践できるレクリエーション

[斐川]

実施日 令和元年8月29日（月）

参加者 74人

内 容 斐川地域社会福祉法人の地域貢献連絡会の取組紹介及び体験

4. 地域ふれあい見守りネットワーク事業

地区社協や福祉団体等との連携と協働により、地域特性をいかして高齢者等の見守り活動を行いました。

[多伎]

地域の一人暮らし高齢者や障がい者、児童等に対して見守りや声がけ等の安否

の確認と福祉問題の早期発見に努めました。

- ・活動者 民生委員、福祉委員、ボランティア
- ・内 容 あんしんカードの作成、見直し・変更随時。(84世帯 97人)
毎月の訪問：73世帯 83人
児童：登下校時の見守り
- ・「ほっとだより」作成
見守り対象者宅への訪問の際に配るおたよりを作成。
・Gさくら(5人)・友楽会(4人)・ひばりのうた(6人)・後藤元興
さんが交代で絵や切り絵、折り紙で作成。(95枚/月)
- ・12月17日(火)、歳末たすけあい事業に併せ餅つきを行い、あんしんカ
ード作成世帯へ年末見守り訪問に併せて餅を配付しました。

[湖陵]

地域の高齢者(一人暮らし・高齢者世帯・認知症等)、障がい者、児童・生徒等住民全般が安心して暮らせるまちをつくるための見守り活動推進を行いました。

- ・あんどカード変更を随時受け付け(173世帯、211人登録)

[斐川]

一人暮らし高齢者の安否確認や状況聞き取りなどにより見守り活動を行い、課題発生時には関係者と連携し早期対応に努めました。(一人暮らし高齢者数405人)

- ・ふれあいレター(月1回)
希望する一人暮らし高齢者181人へ郵便事業株式会社との連携により、ボランティア手作りの絵手紙の手渡しを行い状況把握に努めました。
- ・機関紙お元気ですか(偶数月発行)
希望する一人暮らし高齢者と見守りの必要な高齢者523人へ民生委員の訪問活動を通じて配付を行い、相談機関の情報や季節のお知らせ等を発信しながら状況把握に努めました。

5. 福祉団体活動助成事業

出雲市内で福祉団体等が行う高齢者、障がい者、児童等の福祉の向上を目的とした自主的・積極的な活動に対し助成を行い、地域福祉の充実を図りました。

①助成金額 7,271,602円

②助成団体 31団体

出雲市遺族会	斐川町遺族会	平田地区更生保護女性会
佐田地区更生保護女性会	出雲仏教会	出雲視覚障害者福祉協会
平田地域福祉のまちづくり協議会	出雲市高齢者クラブ連合会	出雲市身障者福祉協会
出雲市聴覚障害者協会	出雲市手をつなぐ育成会	平田手をつなぐ育成会

大社小学校通級指導教室親の会	手話サークルつつじ会	子ども・馬に乗る会
認定NPO法人療育センター燦々	ひえばらお助けマン互助会	出雲市認知症キャラバン・メイト連絡会
NPO法人エスペランサ	平田地域福祉研修協議会	いずもデジタルサポート
大社町希望の会	出雲 縁ingトークの会	福祉互助組織 神門地区手互の会
タンデムサイクルいずも	こりょうブックフレンド	味彩会
斐川地域社会福祉法人の地域貢献連絡会	みんなわたすけあいネット	てごほ〜む
斐川地域地区社会福祉協議会		

○地域住民等の参加と協働による福祉のまちづくりの推進（地域福祉課）

地域住民（福祉団体・福祉施設）等の参加と協働による支え合いの活動により、安心して暮らすことができるまちづくりを推進しました。

1. 認知症高齢者等SOSメール安心ネットワーク事業

認知症や障がいがあっても安心して暮らすことができるまちづくりを推進するため、認知症高齢者等が行方不明になった際に、SOSメール登録者のスマートフォン・携帯電話等に行方不明者情報をメール配信し、早期発見に役立てました。

また、行方不明になることが心配される認知症高齢者等の名前、特徴、写真などの情報をあらかじめ登録する事前登録制度とSOSメール登録者募集のチラシを地域での研修会や行事等で配布し、周知啓発活動を行いました。

- ①登録メールアドレス数 1, 448アドレス
(新規登録203アドレス、退会10アドレス)
- ②メール配信件数 21件（行方不明者7人：14件、啓発等：7件）
- ③事前登録件数 94件（新規登録26件、取消9件）

2. 出雲市生活支援体制整備事業

高齢者の在宅生活を支えるために、生活支援サービスの充実を図るとともに、地域における支え合いの体制づくりに取り組みました。

(1) 地域における支え合いの体制づくり

①地域支え合いフォーラム

我がまちの状況を我がこととしてとらえ、地域の中で何ができるのかをともに検討し、地域での支え合い活動の一層の推進を図ることを目的に開催しました。

実施日 令和元年10月16日（水）

会場 平田文化館

参加者 約220人

- 内 容 ・基調講演「“ホンモノ”の支え合って何だろう」
講師：ご近所福祉クリエイター 酒井 保氏
・紹介「あなたのまちに出向きます！地域での支え合いのススメ
～生活支援コーディネーターと支え合いを考えませんか～」
紹介者：たすけあい平田 理事長 熊谷美和子氏
出雲市社会福祉協議会 生活支援コーディネーター
・まとめ「まとめのお話～わがまちの支え・合いをどうするか～」
講師：ご近所福祉クリエイター 酒井 保氏

②ステップ1 地域支え合い研修会

たすけあい活動の必要性の理解を深め、支え合いの意識醸成を行う研修会を実施しました。

【目標】未実施8地区で開催

【実施状況】10地区で開催（内、未実施6地区で開催）

※圏域を超えた団体などでも実施

実施回数 18回

参加者数 延べ611人

③ステップ2 「さあ話し合おう」（ワークショップ）

地域の現状・資源・課題の把握を行うとともに、目指す地域像を共有しました。

【目標】未実施5地区で開催

【実施状況】4地区（内、未実施1地区で開催）

※大津地区、檜山地区、荒木地区、出西地区

実施回数 4回

参加者数 延べ187人

④ステップ3 地域支え合い会議

住民が主体となって、地域課題解決に向けた話し合いを行い、地域の支え合いの仕組みづくりの検討を行いました。

【目標】未実施4地区で開催

【実施状況】9地区（その他既に実地した地区や圏域を超えた団体など）

⇒【新たなたすけあい活動団体】

・高浜地区暮らし応援活動サークル（令和元年9月発足）

・みんなたすけあいネット〈国富地区口宇賀自治会〉（令和元年10月発足）

(2) 生活支援サービスの充実（住民による支え合い（生活支援）の場づくり）

①生活支援（たすけあい活動）団体ネットワーク

生活支援（たすけあい活動）を行う団体が連携協働して、生活支援サービスの充実が図れるよう連絡会を開催しました。

令和元年7月22日（月）：第1回住民参加型在宅福祉サービス団体交流会

※第2回はコロナウイルス感染拡大に伴い中止

②生活支援（たすけあい活動）に関する実態調査

生活支援（たすけあい）サービスの実態を把握するために、生活支援（たすけあい活動）を行う団体と連携して、利用者、活動者、活動の状況などについて調査を行いました。また、地区別に利用者と活動者の状況について分布図の作成をしました。

③生活支援の担い手養成

新たに生活支援（たすけあい）活動する人を増やし生活支援サービスの充実を図ることを目的に、生活支援（たすけあい）活動に必要な知識や技術を学ぶ勉強会を開催しました。

実施日 令和元年12月3日（火）

会場 平田福祉館

参加者 10人（活動につながった人：4人）

内容 ・説明：「知ってなっ得！魅力あるたすけあい活動とは」

説明者：出雲市社会福祉協議会 生活支援コーディネーター

・講義「学んでなっ得！たすけあい活動の基礎知識と心がまえ」

講師：さわやか福祉財団

さわやかインストラクター 熊谷美和子氏

・体験「やってなっ得！高齢者疑似体験」

講師：出雲市社会福祉協議会 地域福祉課

・お話「聴いてなっ得！たすけあい活動」

発表者：たすけあい平田 利用者家族

なないろネット 活動者

・団体紹介「市内たすけあい活動団体紹介」

説明者：出雲市社会福祉協議会 生活支援コーディネーター

④社会資源情報の見える化（「てごナビ」）

市内の社会資源情報の把握し、高齢者や家族及びその人たちを支援する者が簡便に必要な情報を取得できるように、暮らしのお役立ち情報『てごナビ』（<http://tegonavi.com/>）を運用しました。

【掲載事業所数】 73事業所

【ページビュー数(訪問数)】 27, 522件

⑤「出雲市たすけあい活動団体パンフレット」による啓発

支援を必要とする人の利用促進と新たな活動者の掘り起こしのために、生活支援（たすけあい活動）団体の情報を一元化したパンフレットを発行し、関係団体・機関等へ配付しました。

⑥協同組合系組織との協働

協同組合で組織する地域つながりセンター出雲交流会参加団体と協働して、各団体が抱える課題や困難ケースの事例を共有し、解決方法を探る事例検討会など下記のとおり協働して行いました。

- ・令和元年7月16日(火) 第1回事例検討交流会
- ・令和元年9月17日(火) 第2回事例検討交流会
- ・令和2年3月3日(火) 第3回事例検討交流会

(3) 生活支援コーディネーターの取組状況

活動状況	件数	内容
研修（講師）	28	地域での支え合い（見守り、居場所、支え合い）についての研修講師
ネットワーク会議・連絡会	11	団体連絡会など関係する団体とのネットワーク化を図る会議（例：住民参加型福祉サービス団体連絡会）
相談・支援	104	生活支援サービス提供団体からの相談、立ち上げに向けた相談や働きかけなど
定例会	8	市との体制整備事業についての推進会議
外部会議への参加・説明	87	外部の機関・団体による会議への参加及び事業説明（例：地域つながりセンター交流会、外部機関の行事打合せなど）
研修実施	29	支え合い活動などの担い手研修、フォーラムなど【協議等含】（例：地域支え合いフォーラム）
ニーズ把握・社会資源把握	15	社会資源情報の把握・見える化や全市的な課題やニーズの把握など【協議等含】（例：てごナビ、社会資源リサーチT、ケアパスWS）サロン活動等の状況把握等の参加
外部研修への参加	18	外部の機関・団体による研修への参加
内部協議	35	内部（あんしん支援センター、市）における協議、会議
視察	3	先進地への視察
視察対応	4	外部からの視察対応
その他	8	
	350	

3. 住民参加型在宅福祉サービス事業

住民が地域で安心して暮らすことができるよう、公的サービスでは対応できない地域のニーズを解決するために、住民相互の助け合いによる有償の福祉サービスを実施しました。

(1) たすけあいボランティア事業

利用会員の要望に応じて、協力会員が家事援助、通院の付き添いや話し相手(見守り)等を行いました。

①会員数 (利用会員 87人、協力会員 52人、賛助会員 11人)

	出雲	平田	佐田	多伎	湖陵	大社	斐川	大田	合計
利用	71	0	0	10	0	6	0	0	87
協力	36	2	0	12	0	1	1	0	52
賛助	9	1	0	0	0	0	0	1	11

②利用状況 1,488件 / 2,441時間

内容	利用件数	利用時間	内容	利用件数	利用時間
衣類の洗濯等	4	12	住居の補修	4	14
住居の掃除等	965	1,500	食事の支度	27	41
買物等	115	138	軽易な介護	1	2
外出の介助等	62	174	保育・養育	0	0
話し相手	85	145	その他	121	141
草取り等	104	274	合計	1,488	2,441

(2) すこやか訪問事業

出産後子育てに不安な養育者に対して家事援助や育児援助を行いました。

・利用世帯：2世帯

4. 共同募金歳末助け合い事業

年末時期に、一人暮らし高齢者世帯や低所得世帯等に対して、家屋修繕や清掃等の生活援助、交流事業、地域の福祉団体への助成等を行いました。

〔出雲〕

□75歳以上の高齢者世帯や障がい者のみの世帯の希望者に対して、小規模な家屋修繕または障子の張り替えを行いました。

・実績 89世帯

〔平田〕

□支援が必要な方を対象として、地区社協やボランティアグループ等が主体的に行う活動等へ助成を行いました。

・実績 11地区社協及び1団体

〔佐田〕

□70歳以上の一人暮らし高齢者、75歳以上の高齢者世帯に対して、歳末の時事に声かけによる安否確認を兼ねて、あたたかいお正月を迎えていただけるよう、民生委員の協力によりアルファ化米を贈りました。

・実績：197世帯に配付

[多伎]

- 75歳以上の一人暮らしや高齢者世帯の希望者に対して、気持ちよく新しい年を迎えていただけるよう障子や襖の張替え、年末大掃除、建具小修繕等を行いました。
 - ・障子・襖の張替え、建具小修繕 51世帯
 - ・大掃除（窓拭き、草刈り他） 25世帯
- 在宅介護家庭に対してアルファ化米を贈りました。
 - ・在宅介護世帯 17世帯
- 民生委員、福祉委員、ボランティアの協力で歳末餅つき会を実施しました。見守り登録世帯へ餅とアルファ化米、一人親家庭へは餅と出雲養護学校高等部で作られた商品の詰合せを贈りました。
 - ・配付先 見守り事業登録世帯 85世帯、一人親世帯 23世帯
- 小学生に年賀状の裏面に絵やメッセージを書いてもらい、高齢者宅へ年賀状として送りました。
 - ・年賀状作成 多伎小児童3～6年生
 - ・年賀状発送先 見守り登録者 100人

[湖陵]

- 80歳以上の一人暮らし高齢者や高齢者世帯へ、アルファ化米を贈りました。
 - ・実績 一人暮らし高齢者世帯 83世帯
 - 高齢者世帯 33世帯
- 80歳以上の一人暮らし高齢者や高齢者世帯の希望者に対して、窓拭き、換気扇掃除等の年末掃除を実施しました。
 - ・実績 一人暮らし高齢者世帯 46世帯
 - 高齢者世帯 12世帯

[大社]

- 歳末あったか友愛訪問活動を実施し、民生委員の協力により、障がい者就労継続支援事業所なかよしのクッキーと大社ご縁スタンプ券を贈呈しました。
(80歳以上の一人暮らし高齢者世帯、一人親世帯、支援を必要とする世帯)
 - ・実績 369世帯を訪問
- 地域で福祉活動を行っている団体に対して助成しました。
 - ・大社調理師会（一人暮らし高齢者会食会を開催）
大社町内在住の65歳以上の一人暮らしの高齢者を対象に、料理研修会で作った料理により、会食会を実施しました。参加者：140人
 - ・たんぼぼの会（クリスマス会、おもちつき会を開催）
たんぼぼの会主催により2回開催しました。NPO法人なかよし、通級指導教室親の会、たんぼぼの会3団体より延べ164人が参加し、交流・親睦を深めました。
 - ・NPO法人なかよし（新年会を開催）

新年を迎えるにあたり、利用者同士の親睦を深めるとともに、日頃お世話になっている方々との交流を図りました。参加者：31人

[斐川]

□一人暮らし高齢者もちつき交流会で、民生委員・児童委員、ボランティアの協力により、臼杵を使った昔ながらの餅つきや会食をしました。斐川地域社会福祉法人の地域貢献連絡会加入法人へ講師派遣を依頼し、参加者全員でレクリエーションをして心温まる交流を行いました。

・実績：参加者95人

□新年の始まりに届く年賀状を通じ地域社会とのつながりを実感する機会とするため、65歳以上の一人暮らし高齢者のうち「ふれあいレター」希望者に対して、町内の小中学生が作成した年賀状を送りました。

・実績：185世帯へ送付

○福祉サービスの提供（地域福祉課）

1. 車いす貸出事業

在宅の高齢者、障がい者等で車いすを必要とする人に車いすを無料で貸し出しました。

貸出件数

出雲	平田	佐田	多伎	湖陵	大社	斐川	合計
266	19	0	13	4	74	40	416

2. ガイドヘルプ事業

障がい者総合支援法による地域生活支援事業（移動支援事業）を実施し、視覚障がい者に対して、外出時の安全のためにガイドヘルパーを派遣しました。

また、通院時の院内付添い等移動支援事業の給付の対象外になる部分については独自にサービスを提供しました。

① 職員体制 ガイドヘルパー 13人（常勤1人、登録12人）

② 実利用者数 25人

③ 利用実績

区分	利用日数	利用時間
個別支援	1,069	2,348.5
給付対象外	184	168
グループ支援	51	241.5
合計	1,120	2,590

内訳（サービス利用内容別）

区分	利用日数
日常生活	936

通院	184
合計	1,120

○社会福祉法人等との連携・協働及び支援等（総務課、企画課、地域福祉課）

社会福祉法人等の福祉事業者や福祉関係者・団体との連携・協働により地域福祉を推進するとともに、福祉団体の支援を行いました。

1. 社会福祉法人による地域貢献活動推進事業

市内で社会福祉事業を行っている社会福祉法人により設立された「地域貢献のための出雲市社会福祉法人連絡協議会」（連絡協）及び斐川地域の社会福祉法人により設立された「斐川地域社会福祉法人の地域貢献連絡会」（連絡会）の事務局を担当しました。連絡協では災害時に備えた福祉支援体制づくりを推進し、連絡会ではなんでも相談事業の実施を目指して取組を進めました。

〔地域貢献のための出雲市社会福祉法人連絡協議会〕

①加入法人数 39法人

②総会 実施日 令和元年7月25日（木）

出席法人 30法人（42人）

内 容 ・第1号議案 平成30年度事業報告及び決算（案）について
 ・第2号議案 令和元年度事業計画及び予算（案）について
 ・第3号議案 役員を選出について

講 演 「災害時に備える福祉支援体制づくり」に関する一提案
 講師 出雲市防災安全部 部長 間島尚志氏

③役員会

（第1回） 実施日 令和元年6月6日（木）

内 容 ・役員（案）について
 ・平成30年度事業報告及び決算（案）について
 ・令和元年度事業計画及び予算（案）について
 ・今後のスケジュールについて

⑤幹事会

（第1回） 実施日 令和2年1月30日（木）

内 容 ・一斉訓練の取組について
 ・令和2年度事業計画について
 ・今後のスケジュールについて

⑦会報「地域貢献ふくしネットワークNEWS」発行

- ・第5号（令和元年7月29日）

⑧災害用備品貸出

- ・避難所開設用パーティション、簡易ベッド等を貸出 4件

⑨一斉訓練

- ・8月30日から9月5日までの防災週間を中心に、市内の社会福祉法人で避難所設営訓練を実施しました。

<実施法人>

出雲市社会福祉協議会 8月30日（金）

斐川あしたの丘福祉会 8月30日（金）

荘原福祉会 9月2日（月）

金太郎の家 9月4日（水）

多伎の郷 10月24日（木）

[斐川地域社会福祉法人の地域貢献連絡会]

①加入法人数 11法人

②総会 実施日 令和元年6月20日（木）

出席法人 10法人（14人）

内 容 ・役員について

・平成30年度事業報告、決算について

・平成31年度事業計画、予算について

③会 議

（第19回） 実施日 令和元年6月20日（木）

内 容 ・平成31年度貢献活動について

・研修会の開催について

（第20回） 実施日 令和元年8月8日（木）

内 容 ・今後の貢献活動について

・PR小冊子の配付について

（第21回） 実施日 令和元年11月12日（木）

内 容 ・地域での意見交換会について

・PR小冊子の活用について

④全職員研修（全体研修）

実施日 令和元年 11月12日(火)

出席法人 10法人(約130人)

内 容 ・斐川地域社会福祉法人の地域貢献活動の現状について

講師：かんなび園 施設長 藤原光代氏

・DVD観賞【親愛なる、あなたへ】上映時間：37分

・意見交換会(グループワーク)

⑤PR冊子の作成

・部数：7,000部(斐川地域において自治会配付の便に合わせ配付)

2. 高齢者マッサージサービス事業

出雲視覚障がい者福祉協会と出雲鍼灸マッサージ師会との共催により、高齢者を対象に無料マッサージサービスを行いました。

実施日 令和元年9月1日(日)

会 場 出雲市社会福祉センター

利用者 27人

施術者 13人

3. 団体支援等

- (1) 出雲市民生委員児童委員協議会など社会福祉団体の支援
- (2) 島根県共同募金会出雲市共同募金委員会
- (3) 日本赤十字社島根県支部出雲市地区

4. その他の事業

(1) 戦没者追悼事業

[出雲] 名 称 出雲地区戦没者追悼式

※悪天候により中止

[平田] 名 称 平田地域戦没者追悼式

開催日 令和元年4月14日(日)

会 場 平田文化館

出席者 150人

[佐田] 名 称 佐田町戦没者追悼式

開催日 令和元年10月3日(木)

会 場 佐田行政センター

出席者 35人

[多伎] 名 称 多伎町戦没者追悼式

開催日 令和元年9月19日(木)

会 場 出雲市多伎地域福祉センター

- 出席者 21人
- [湖陵] 名 称 湖陵町戦没者追悼式
開催日 令和元年9月25日(水)
会 場 湖陵福祉センター
出席者 31人
- [大社] 名 称 大社町靖國英霊慰霊大祭(神式)
開催日 平成31年4月26日(金)
会 場 出雲大社教祖霊社
出席者 73人
- [斐川] 名 称 斐川町戦没者追悼式
開催日 平成31年4月15日(月)
会 場 アクティーひかわ
出席者 130人

(2) 子育てサロン事業

小学校就学前の児童とその親が気軽に集い、交流会、育児相談等を行うことで、安心して子育てができるよう子育てサロンを開設しました。

回 数 45回

会 場 湖陵福祉センター

参加者 延べ211組、505人(親221人、子ども284人)

人材育成（人づくり）

地域福祉活動への理解と関心を高めるとともに、社会福祉に関する活動に参加する人を増やし、またその活動を活発にするための取組を進めました。

○ボランティア活動の促進（地域福祉課）

ボランティアまちづくりセンターにおいて、ボランティア活動に関する相談や情報提供を行うとともに、ボランティア活動をコーディネートしました。また、ボランティア保険加入手続きや備品・活動場所の貸出などの活動支援を行いました。併せて、ボランティア活動の担い手の育成とネットワークの拡大を図る取組を進めました。

1. ボランティアまちづくりセンターの運営

ボランティア活動への関心を高め、活動への参加促進を図るため、ボランティアまちづくりセンターを設置し、ボランティアコーディネーターを配置しました。ボランティア活動に関する相談、情報提供、必要に応じた調整等を行いました。

企業による社会貢献活動の相談に応じ、障がい者関係の活動への調整を行いました。また、県外から観光に来られる視覚障がい者に対する手引きボランティアの相談に応じ、ボランティアの派遣・調整を行いました。

(1) 相談件数等

	相談	紹介		活動場所の提供	
		うち活動希望	うち派遣希望		
出雲	329	25	8	17	301
平田	99	1	1	0	59
佐田	32	1	0	1	0
多伎	103	46	3	43	21
湖陵	5	25	0	25	0
大社	75	22	0	22	25
斐川	80	35	3	35	6
合計	723	155	15	143	412

(2) 保険関連件数

ボランティア活動中のケガ等の補償のため、「ボランティア活動保険」の加入手続きや請求手続きを行いました。また、地域で開催される行事のための「ボランティア行事用保険」等、各種保険の加入・請求手続きを行いました。

ボランティア活動保険		
加入件数	延べ人数	請求手続き件数
264	3,672	7

(3) ボランティア登録数

	団体数	団体人数	個人
出雲	73	2,606	89
平田	18	445	2
佐田	10	68	2
多伎	12	322	2
湖陵	10	118	17
大社	11	88	7
斐川	27	593	14
合計	161	4,240	133

(4) ボランティア活動支援

[平田]

住宅修繕奉仕活動

内 容 平田地域のひとり暮らし高齢者を対象にした簡易な住宅修繕と相談

実施日 下見：令和元年11月24日（日）、実施：12月1日（日）

活動者 平田建築組合青年部、平田建築組合婦人部

訪問世帯 27世帯

(5) 民間助成金情報の提供

社会福祉法人及びNPO法人、ボランティアグループなどの福祉活動を財源面から支援する各種民間助成金について、情報提供及び相談対応を行いました。

①助成金情報の提供

- ・各団体への情報提供回数 38回
- ・情報提供した団体数 73団体
- 各団体への提供件数 延べ1421件

②相談対応 27団体に対して延べ45件

2. 技術ボランティアの養成

(1) 手話奉仕員養成講座

聴覚障がい者との手話での日常会話に必要な手話技術や知識を習得し、手話奉仕員として活動できる人を養成するための講座を開催しました。

実施日 平成31年4月10日（水）～令和元年10月2日（水）（全23回、修了試験）

会 場 出雲市社会福祉センター

受講者 17人 修了者 15人

(2) 手話奉仕員フォローアップ研修

出雲市に登録している手話奉仕員の資質向上を図るためにフォローアップ研修を開

催しました。

実施日 令和元年6月9日、7月6日、10月27日、11月30日、
令和2年2月2日、3月8日（全6回）

会 場 出雲市社会福祉センター

参加者 延べ92人

（3）手話奉仕員レベルアップ講座（前期）

手話奉仕員養成講座を修了した人を対象に、手話通訳者養成講習会の受講を目指すための講座を開催しました。

実施日 平成31年4月13日（土）（全1回）

会 場 出雲市社会福祉センター

受講者 12人

手話通訳者養成講習会を目指す学習会（手話奉仕員レベルアップ講座（後期））

実施日 令和元年12月14日、令和2年1月18日、2月15日、
3月14日（全4回）

会 場 出雲市社会福祉センター

受講者 11人

（4）要約筆記奉仕員フォローアップ研修

要約筆記奉仕員養成講座を修了した人を対象に、要約筆記奉仕員としての活動に必要な技術や知識を向上させるとともに、活動への参加意欲を高めることを目的に研修会を開催しました。

実施日 令和元年7月14日（日）、8月31日（土）、9月29日（日）
（全3回）

会 場 サン・アビリティーズいずも、出雲市社会福祉センター

参加者 延べ18人

（5）点訳奉仕員養成講座

点訳に必要な知識と技術を修得し、視覚障がい者が利用する点字図書の作成など点訳活動ができる人を養成するために講座を開催しました。

実施日 令和元年5月18日（土）～令和2年3月21日（土）（全21回）

会 場 出雲市社会福祉センター

講 師 出雲市アイアイ会

修了者 4人

（6）広報音訳ボランティアフォローアップ研修

現在活動中の広報音訳ボランティアを対象に、広報音訳ボランティアとしての活動

に必要な知識と技術の向上を図り、活動への参加促進を図るための研修会を開催しました。

実施日 令和元年10月7日(月)、11月6日(水)、12月5日(木) (全3回)
会場 出雲市社会福祉センター
参加者 延べ38人

3. ボランティア活動に参加する人の拡大

(1) ボランティア講座

ボランティア活動に必要な「聴き方」について学び、ボランティア活動に参加するきっかけをつくるための講座を男性シニア世代と子育て支援活動に関心がある方等を対象に開催しました。

講座ではボランティアに参加する上で必要な対人援助技術を学ぶことができた等の声があがりました。また、講座をきっかけに、ボランティア活動に参加される方が増えました。

① ボランティア活動者のための聴き方講座

ボランティア活動に大切な相手との信頼関係を築くために、参加者が「受容」、「共感」、「非言語コミュニケーション」のスキルを学び、心の通い合ったボランティア活動をすることを目的として開催しました。

実施日 令和元年10月9日(水)
会場 縁結び交流館
講師 鳥取大学大学院医学系研究科 准教授 竹田伸也氏
参加者 44人

② 男性シニア世代の地域デビュー講座

シニア男性が地域活動に興味を持ち、余暇を有意義に活用することで「生きがい」や「やりがい」を見つけるきっかけとすること、参加者が地域で活動するボランティア団体等を知ることによって活動に結びつけることを目的として開催しました。

実施日 令和元年8月9日(金)
会場 出雲市社会福祉センター
講師 日本余暇会 理事長 山崎勇三氏
日本余暇会広島支部 事務局長 上田耕作氏
参加者 12人

③ 子育て支援ボランティア研修会

子育て支援活動に必要な、子どもや保護者との信頼関係を築く方法を学び、市内で活動する団体とつながることで地域での子育て支援活動が活発に取り組まれることを目的として開催しました。

実施日 令和2年2月26日(水)
会 場 縁結び交流館
講 師 バルーンアートパフォーマー さと原人
子どものこころのコーチング協会インストラクター 高島智氏
参加者 50人

(2) 社会福祉施設ボランティア推進研修会

社会福祉施設の職員がボランティア活動の意義や受け入れの必要性等について認識を深め、他施設等の状況を知り情報共有を行うことによって、活動者側、受け入れ側双方にとって有意義なボランティア活動が行われるようにすることを目的として開催しました。

実施日 令和元年12月13日(金)
会 場 出雲市社会福祉センター
講 師 岡山NPOセンター
参画推進センター長 西村こころ氏
岡山県ボランティア・NPO活動支援センター(ゆうあいセンター)
センター長
参加者 19人

○福祉教育の推進 (地域福祉課)

福祉コミュニティづくりを進めるため、地域において生涯にわたる福祉教育の展開を目指して、学校や地域社会、企業等において福祉教育を推進しました。

特に、障がい者に関する取り組みについては、当事者とともに実施することで、障がい者に対する正しい認識とかかわりについて理解を深め、共生社会への実現に向けた取り組みを推進しました。

1. 福祉教育推進事業

学校や地域、職場等において、地域住民が福祉への関心を高め、理解を深めるための福祉教育を推進しました。

(1) 福祉教育連絡会

[佐田・多伎・湖陵]

実施日 令和元年6月21日(金)
会 場 湖陵福祉センター
参加者 10人(小学校3人、中学校3人、市社協4人)
内 容 ・市社協の平成30年度の福祉教育に関する事業報告
・令和元年度の福祉教育、ボランティア関連事業計画及び情報提

供

- ・各学校の福祉教育・学習の取組について
- ・福祉教育に関する物品の紹介・展示
- ・意見交換

[大社]

- 実施日 令和元年7月2日(火)
- 会場 大社行政センター
- 参加者 5人(小学校3人、中学校1人、社協1人)
- 内容
- ・福祉教育に関する情報提供
 - 福祉教育関係物品の紹介
 - 職員等の派遣について
 - 盲導犬学習、点字体験学習について
 - ・各学校における福祉教育の取り組み
 - ・意見交換

[斐川]

- 実施日 令和元年6月26日(水)
- 会場 斐川支所
- 参加者 7人(小学校4人、中学校2人、社協1人)
- 内容
- ・本会、斐川支所の福祉教育に関する取組について
 - ・各学校の福祉教育活動の取組について
 - ・福祉教育関係物品の紹介と展示
 - ・意見交換

(2) サマーボランティアスクール

福祉活動やボランティア活動について体験的に学ぶことを通じて、福祉やボランティア活動への関心を高め、理解を深め、他者と共に助け合って生きる心を育みましました。

[斐川]

- 実施日 小学生の部 令和元年7月29日(月)
- 中学生の部 令和元年7月31日(水)
- 会場 島根ライトハウスひかわ福祉の里 かなび園・なのはな園
- 参加者 22人(西野小5人・中部小6人・出東小2人・斐川東中9人・斐川西中0人)
- 内容
- ・アイマスク・点字・手話学習
 - ・かなび園利用者の外出・買物支援
 - ・なのはな園デイサービスで交流
- 成果物 感想文集の発行

(3) 福祉学習支援

福祉意識の醸成を図るため、小学校、中学校、高等学校、企業等に対して福祉学習の支援を行いました。

(4) あいサポート運動推進事業

多様な障がいの特性や障がい者が日常生活の中で、工夫していること、困っていること、障がい者への配慮等を理解し、日常生活の中でちょっとした手助けを行う「あいサポーター」を普及し、障がい者が暮らしやすい地域社会づくりを進めました。

①福祉学習支援活動実施回数・受講人数 (福祉学習支援及びあいサポート運動)

	一般・団体		企業・事業所		学校		合計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
出雲	21 (7)	593 (181)	6 (6)	97 (97)	32 (10)	2,018 (703)	59 (23)	2,708 (981)
平田	3 (0)	85 (0)	0 (0)	0 (0)	12 (4)	246 (49)	15 (4)	331 (49)
佐田	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	28 (14)	2 (1)	28 (14)
多伎	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	102 (0)	3 (0)	102 (0)
湖陵	1 (0)	26 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	95 (0)	3 (0)	121 (0)
大社	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (1)	232 (50)	5 (1)	232 (50)
斐川	0 (0)	0 (0)	2 (2)	16 (16)	21 (0)	991 (0)	23 (2)	1007 (16)
合計	25 (7)	704 (181)	8 (8)	113 (113)	77 (16)	3,712 (816)	110 (31)	4,529 (1,110)

※地域は実施した機関や団体の所在地での実績です。

※各地域下段の数字は、福祉教育のうち「あいサポート運動」としての実績です。

②外部講師紹介件数 学校 13件

○災害時のボランティア活動の支援 (地域福祉課)

1. 災害ボランティアセンターの設置運営

災害発生時に、被災者ニーズに対し円滑に応える体制づくりや住民の防災意識の向上を図ることを目的に、出雲市及び出雲市総合ボランティアセンターと共同で訓練を行いました。

被災者からの支援ニーズの聞き取りや、ボランティアの受付・マッチング・送り出し等について、役割の確認と運営を訓練するとともに、参加者に災害ボランティアセンターの状況を体験してもらいました。

実施日 令和元年9月1日(日)

会 場 出雲市役所くにびき大ホール

参加者 出雲市災害対策本部、出雲市社会福祉協議会、
出雲市総合ボランティアセンター、応援スタッフ、住民等

法人運営

民間団体としての主体的な経営判断を行ない、かつ地域に開かれた組織体制を確立し、公共性と民間性をあわせ持つ地域福祉を推進する団体として、住民に信頼される組織の確立を図りました。

○信頼にこたえる法人運営（総務課、企画課）

経営管理体制の強化と安定的な財務運営及び地域に開かれた組織体制の確立に努めました。

1. 法人運営事業

(1) 組織運営

- ・役員会等の開催（評議員会、理事会、監査会、正副会長会、理事部会）
- ・定款、諸規程の整備
- ・本所・支所との連絡調整

[会議]

①正副会長会

令和元年5月28日（火）

令和元年6月27日（木）

令和2年3月13日（金）

②理事会

第63回理事会（※決議の省略）

議第280号 社会福祉法人出雲市社会福祉協議会常務理事の選定について

第64回理事会

令和元年5月31日（金）

議第281号 平成30年度事業報告について

議第282号 平成30年度決算について

議第283号 社会福祉法人出雲市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会への評議員選任候補者の推薦について

議第284号 令和元年度第1回評議員選任・解任委員会の招集について

議第285号 社会福祉法人出雲市社会福祉協議会評議員会への役員候補者の推薦について

議第286号 令和元年度社会福祉事業区分資金収支第1回補正予算について

議第287号 第57回評議員会（定時）の招集について

第65回理事会

令和元年6月18日（火）

議第288号 会長、副会長及び常務理事の選定について
第66回理事会

令和2年3月17日（火）

- 議第289号 社会福祉法人出雲市社会福祉協議会定款の一部改正について
- 議第290号 社会福祉法人出雲市社会福祉協議会役員等の報酬、費用弁償に関する規則の一部改正について
- 議第291号 社会福祉法人出雲市社会福祉協議会組織管理規則の一部改正について
- 議第292号 社会福祉法人出雲市社会福祉協議会事務局規則の一部改正について
- 議第293号 社会福祉法人出雲市社会福祉協議会苦情解決に関する規程の一部改正について
- 議第294号 社会福祉法人出雲市社会福祉協議会就業規則の一部改正について
- 議第295号 社会福祉法人出雲市社会福祉協議会給与等に関する規程の一部改正について
- 議第296号 令和元年度社会福祉事業区分資金収支第2回補正予算について
- 議第297号 令和2年度事業計画及び資金収支予算について
- 議第298号 第58回評議員会（3月）の招集について
- 議第299号 主要人事任命について

③評議員会

第57回評議員会（定時）

令和元年6月18日（火）

- 議第203号 平成30年度事業報告について
- 議第204号 平成30年度決算について
- 議第205号 社会福祉法人出雲市社会福祉協議会理事及び監事の選任について
- 議第206号 令和元年度社会福祉事業区分資金収支第1回補正予算について

第58回評議員会（3月）（※決議の省略）

- 議第207号 社会福祉法人出雲市社会福祉協議会定款の一部改正について
- 議第208号 社会福祉法人出雲市社会福祉協議会役員等の報酬、費用弁償に関する規則の一部改正について

議第209号 令和元年度社会福祉事業区分資金収支第2回補正予算について

議第210号 令和2年度事業計画及び資金収支予算について

④監査会

令和元年5月20日（月）

平成30年度事業報告について

平成30年度決算について

(2) 経営基盤の確立

- ・会員（一般会員、団体会員、賛助会員）の拡充
- ・財務運営の安定化（会費、寄附の受納、共同募金運動の促進、積立金の適正管理）

[会費収入等]

①会費収入額 39,021,400円

・一般会費 35,265,400円

・団体会費 700,000円

・賛助会費 3,056,000円

②寄附金収入額 13,254,534円

・一般寄附金 1,392,534円（62件）

・香典返し寄附 11,862,000円（582件）

③共同募金助成（平成30年度募金 B助成） 21,557,323円

(3) 経営管理の充実

- ・会計、税務、財務の適正管理
- ・人事、労務の適正管理
- ・個人情報保護の適正対応
- ・苦情解決体制の充実と適正対応
- ・リスク管理の徹底
- ・健康経営の推進
- ・受託事業等に係る契約の適正管理

[労務管理]

①衛生委員会

毎月、産業医と労働安全衛生計画で定めた事業計画の執行状況について確認しました。

産業医：塩飽邦憲氏

②健康・メンタルヘルス相談

職員を対象に健康とメンタルヘルスに関する相談を実施しました。

実施日 令和元年4月24日(水)、5月28日(火)、6月25日(火)、
7月25日(木)、8月27日(火)、9月30日(月)、
10月23日(水)、11月26日(火)、12月24日(火)、
令和2年1月28日(火)、2月25日(火)、3月27日(金)

会 場 出雲市社会福祉センター

相談員 塩飽邦憲氏(産業医)

[健康経営の推進]

令和2年1月7日、「ヘルスマネジメント認定事業所」の認定を受けました。

[苦情解決の状況]

- ・苦情受付件数 5件
- ・苦情の内容 職員の対応に関する事 4件
その他(交通安全に関する事) 1件
- ・苦情解決件数 5件

[契約等の取扱]

一般競争、指名競争の状況

- ・件 名 令和元年度「社協だよりいずも」印刷
- ・契約方法 指名競争入札
- ・予定価格 1,801,440円(税込)
- ・契約金額 1,585,120円(税込)
- ・契約の相手方 有限会社福間秀文堂

(4) 関係機関との連絡調整

- ・行政機関(出雲市、出雲保健所等)
- ・社会福祉協議会(島根県社会福祉協議会、県内の市町村社会福祉協議会等)
- ・福祉団体
- ・福祉施設等

[市との意見交換]

健康福祉部との意見交換会

実施日 令和元年7月3日(水)

会 場 市役所

出席者 市役所17人、社協16人

[障がい者施設との連絡調整]

障がい者就労継続支援事業所（B型）の出店調整等

イベント名	出店日	事業所数
今市あいあいまつり	5月11日、12日	4
ジョウラクローズガーデン	5月25日	1
一畑お山の夏祭り	8月24日	1
出雲市総合社会福祉大会	9月11日	5
出雲市民余芸大会	12月8日	2

(5) 役職員の研修

①内部研修

〔新任職員研修〕

実施日 平成31年4月11日（木）

参加者 職員 5人

内 容 常務理事による講義ほか

〔全職員研修〕

実施日 平成31年4月24日（水）

参加者 職員 89人

内 容 ・常務理事による講義
・個別支援発表（①地域福祉課、②生活支援課、③権利擁護センター、④高齢者あんしん支援センター）

〔避難所運営机上訓練及び防災備品設置訓練〕

実施日 令和元年8月30日（金）

参加者 職員 10人

講 師 出雲市男女共同参画センター 所長 森脇都多江 氏

〔メンタルヘルス研修〕

実施日 令和元年10月9日（水）、11月5日（火）

参加者 役職員 93人

講 師 鳥取大学大学院医学系研究科 臨床心理学専攻
准教授 竹田伸也 氏

〔人権研修〕

実施日 令和2年2月19日（水）、2月20日（木）

参加者 役職員 93人

講 師 出雲市同和教育啓発指導員

②外部研修

- ・社協トップミーティング
- ・人事管理研修 I
- ・指導的職員研修
- ・中堅職員研修

- ・社協職員スキルアップ研修
- ・メンタルヘルス研修Ⅱ
- ・コミュニティソーシャルワーク実践基礎研修【前期・後期】
- ・社会福祉法人役員研修
- ・社会福祉法人会計実務研修〔初級コース〕
- ・社協職員スキルアップ研修
- ・相談支援事業従事者研修会
- ・専門員実践力強化研修会Ⅰ
- ・中国ブロック日常生活自立支援事業専門員研修会
- ・地域福祉推進セミナー
- ・生活支援コーディネーター養成研修（理論編）
- ・生活支援コーディネーター養成研修（実践編）
- ・津和野町社協第1層協議体主催住民講演会
- ・福祉教育推進セミナー
- ・全国ボランティアコーディネーター研究集会
- ・ボランティアコーディネータースキルアップ研修
- ・第7回全国権利擁護支援実践交流会
- ・「ふくしの学び合い」推進者研修
- ・災害ボランティアセンター運営者・運営支援者養成講座
- ・クラウドファンディング活用セミナー×助成制度合同説明会
- ・社会福祉協議会活動全国会議
- ・「社協・生活支援活動強化方針」普及・促進セミナー
- ・ひきこもり問題の理解促進と支援力向上のための研修会
- ・生活困窮者自立相談支援人材養成研修
- ・相談支援事業従事者研修会
- ・生活困窮者支援ソーシャルワーク研修
- ・家計改善支援事業従事者養成研修
- ・DV関係支援者研修会
- ・認知症地域支援推進員フォローアップ研修会
- ・あいサポート運動推進事業「メッセージャー研修」
- ・ブロック全国協働戦略会議

③自己啓発研修の推進

- ・自己啓発援助制度による援助決定：10件

○広報啓発活動の推進（企画課）

社協の存在や役割を広く伝え、地域住民の社協に対する理解と共感を広げ、認知度を高める取組を進めました。

1. 出雲市総合社会福祉大会の開催等

(1) 出雲市総合社会福祉大会の開催

主 催 出雲市、出雲市社会福祉協議会、出雲市民生委員児童委員協議会、
出雲市高齢者クラブ連合会

開 催 日 令和元年9月11日(水)

会 場 出雲市民会館

参加者数 約800人

内 容 ・高齢者祝品贈呈

市内最高齢者、新百歳89人、米寿1,384人

・表彰

市社会福祉協議会会長表彰及び感謝 125人、2団体

市民生委員児童委員協議会会長表彰 4人

市高齢者クラブ連合会会長表彰 49人、1団体

・講演

演題「自分らしく生きるために 成年後見の活用」

講師 錦織法律事務所 弁護士 錦織正二氏

(2) しまね県民福祉大会への参加

開催日 令和元年9月21日(土)

会 場 島根県民会館

参加者 55人

(3) 各種表彰の候補者の推薦

・島根県社会福祉協議会会長表彰・感謝 12人・1団体

・島根県知事感謝 1人

・厚生労働大臣表彰(ボランティア功労) 該当なし

2. 「社協だよりいずも」の発行

住民へ広く本会の取組を周知し、また福祉情報を提供するために2ヶ月に1回、「社協だよりいずも」を発行し、市内各世帯へ配付しました。

発行月 4月、6月、8月、10月、12月、2月

発行部数 48,800部(1回当たり)

3. 音訳広報・点訳広報発行业

各種広報の内容を音声で録音した音訳広報と点字版の「社協だよりいずも」をボランティアグループの協力により制作し、希望する視覚障がい者に送付しました。

(1) 音訳広報発行

①音訳広報「広報いずも」

内 容 「広報いずも」第242号～第253号

発行回数 12回

利用者数 延べ624人

作 成 者 音訳ボランティアいずも、音訳グループやまびこの会、
斐川音訳ボランティアトゥインクル

②音訳広報「いずも市議会だより」

内 容 「いずも市議会だより」第56号～第59号

発行回数 4回

利用者数 延べ210人

作 成 者 音訳ボランティアせせらぎ

③音訳広報「社協だよりいずも」

内 容 「社協だよりいずも」第121号～第126号

発行回数 6回

利用者数 延べ166人

作 成 者 朗読ボランティアひばりのうた

④音訳図書（プライベートサービス）

図 書 15冊

利用者数 2人

作 成 者 朗読ボランティアひばりのうた (2冊)

音訳ボランティアせせらぎ (1冊)

音訳ボランティアいずも (12冊)

(2) 点訳広報発行

①点訳広報「社協だよりいずも」

内 容 「社協だよりいずも」第121号～第126号

発行回数 6回

利用者数 延べ48人

作 成 者 出雲市アイアイ会

②点訳図書（プライベートサービス）

利用実績なし

4. ホームページの運営管理

住民へ広く社協活動を周知し、また福祉情報を提供するために、ホームページを運営しました。住民、福祉事業者、ボランティア団体等が情報発信できる場を設け、福祉活動の活性化を図りました。

①ページビュー数 92,228件

②記事掲載数

「社協の活動紹介」	86件
「地域の活動紹介」	31件
「福祉掲示板」	42件
「研修情報」	8件

5. 出雲市民余芸大会の開催

出雲市、山陰中央新報社出雲総局との共催により開催しました。収益金は、島根県共同募金会出雲市共同募金委員会に寄附しました。

開催日 令和元年12月8日（日）

会場 出雲市民会館

来場者 約1,300人

出演団体 21団体

寄附金額 314,167円

○中期的な計画の推進（企画課）

1. 地域福祉活動計画推進事業

出雲市と一体的に策定した「第3次出雲市地域福祉計画・地域福祉活動計画」について、出雲市地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会を開催し、進捗管理を行いました。

また、計画期間内に「総合的な相談体制の確立」を掲げており、福祉課題が複雑多様化する中、それらを包括的に受け止めることができる相談支援体制の整備を出雲市と共に取り組みました。

(1) 出雲市地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会の開催 (第1回)

開催日 令和元年6月5日（水）

出席者 委員10人、事務局7人（社協3人、市4人）

会場 出雲市社会福祉センター

内容 ・人事異動等に伴う新任委員・事務局紹介
・副委員長の選出
・委員長あいさつ

- ・市民意識調査実施手法について
- ・出雲市における総合的な相談体制の確立に向けた検討について
- ・令和元年度の出雲市地域福祉計画。地域福祉活動計画推進委員会実施スケジュールについて

(第2回)

- 開催日 令和元年10月30日(水)
- 出席者 委員9人、事務局7人(社協3人、市4人)
- 会場 出雲市社会福祉センター
- 内容
- ・市民意識調査結果について
 - ・出雲市における総合的な相談体制の確立に向けた検討について
 - ・令和元年度の出雲市地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会実施スケジュールについて

(第3回)

- 開催日 令和2年2月13日(木)
- 出席者 委員13人、事務局7人(社協3人、市4人)
- 会場 出雲市社会福祉センター
- 内容
- ・市民意識調査結果における各種施策への担当課評価について
 - ・出雲市における総合的な相談体制の確立に向けた検討について
 - ・令和2年度の出雲市地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会実施スケジュールについて
 - ・令和2年度からの出雲市地域福祉計画・地域福祉活動推進委員会委員への就任について

(2) 先行事例調査

(岡山市)

- 実施日 令和元年6月25日(火)
- 出席者 委員1人、事務局2人(社協1人、市1人)
- 会場 岡山市保健福祉会館
- 視察先 岡山市保健福祉局保健福祉企画総務課
- 内容 総合的な相談支援体制の構築及び運用、多機関の協働による相談支援体制についての先行事例調査

(松江市)

- 実施日 令和元年7月19日(金)
- 出席者 委員5人、事務局7人(社協5人、市2人)
- 会場 松江市総合福祉センター
- 視察先 松江市社会福祉協議会
- 内容 総合的な相談支援体制の構築及び運用、多機関の協働による相談支援体制についての先行事例調査

(3) 総合相談体制構築検討ワーキンググループ

令和元年11月にワーキンググループを立ち上げ、出雲市における望ましい総合相談体制の在り方、すぐにでもできる工夫、コーディネーターの役割、具体的な支援策検討の流れ、関係機関の役割分担、地域での福祉課題早期発見のための工夫等を検討した。

構成員 【出雲市】福祉推進課2人、高齢者福祉課2人、医療介護連携課2人、健康増進課2人、子ども政策課1人、【社協】出雲高齢者あんしん支援センター1人、平田高齢者あんしん支援センター1人、いずも権利擁護センター1人、生活支援課1人、地域福祉課1人

事務局（【出雲市】福祉推進課3人、【社協】企画課1人）

開催回数 5回

○災害見舞への取組（総務課）

1. 災害見舞金事業

火災など災害にあわれた世帯に見舞金をおくりました。

・火災（1世帯10,000円） 19世帯

○会館管理（総務課）

1. 会館管理事業

各センターの適正な管理運営に努めました。

(1) 出雲市社会福祉センター管理運営事業

・開館日数 360日

・利用回数 1,619回（有料52回、無料1,567回）

・利用者数 15,315人

(2) 多伎地域福祉センター管理運営事業

・開館日数 259日

・利用回数 940回

・利用者数 16,568人

(3) 平田福祉館管理運営事業

・開館日数 245日

・利用回数 401回

・利用者数 2,382人

○新型コロナウイルス感染症対策

1. 方針の決定

令和2年2月と3月の経営会議及び3月の正副会長会において、新型コロナウイルス感染症対策について方針を決定し、対策の具体化を進めました。

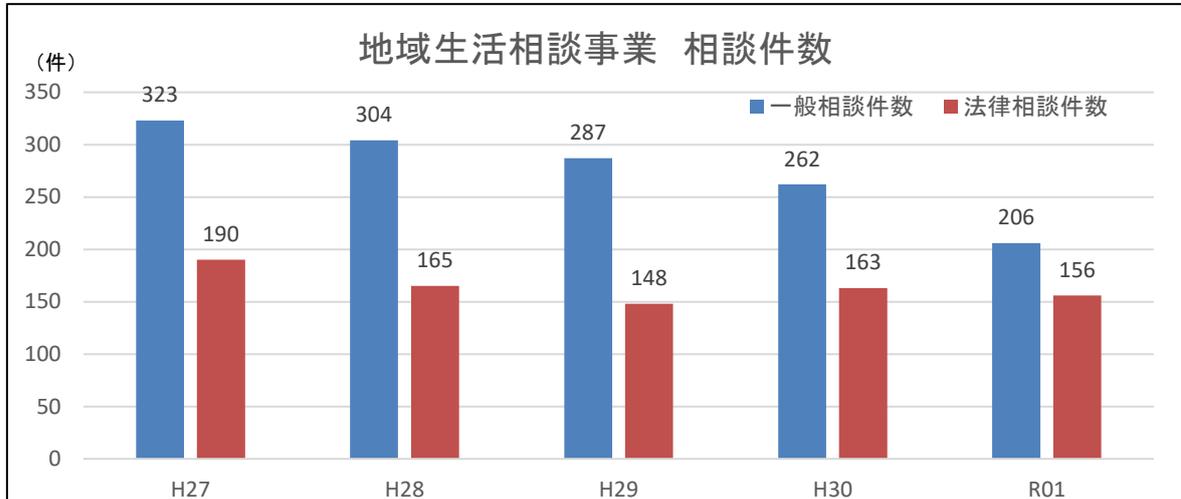
2. 対策

- ・新型コロナウイルス感染症対策について塩飽産業医から情報提供と助言
- ・感染予防として施設の消毒の実施
- ・小学校等の臨時休校に伴う職員の休暇の取得
- ・施設利用団体への利用の自粛
- ・決議の省略による評議員会の招集
- ・新型コロナウイルス感染症ハンドブックの職員周知

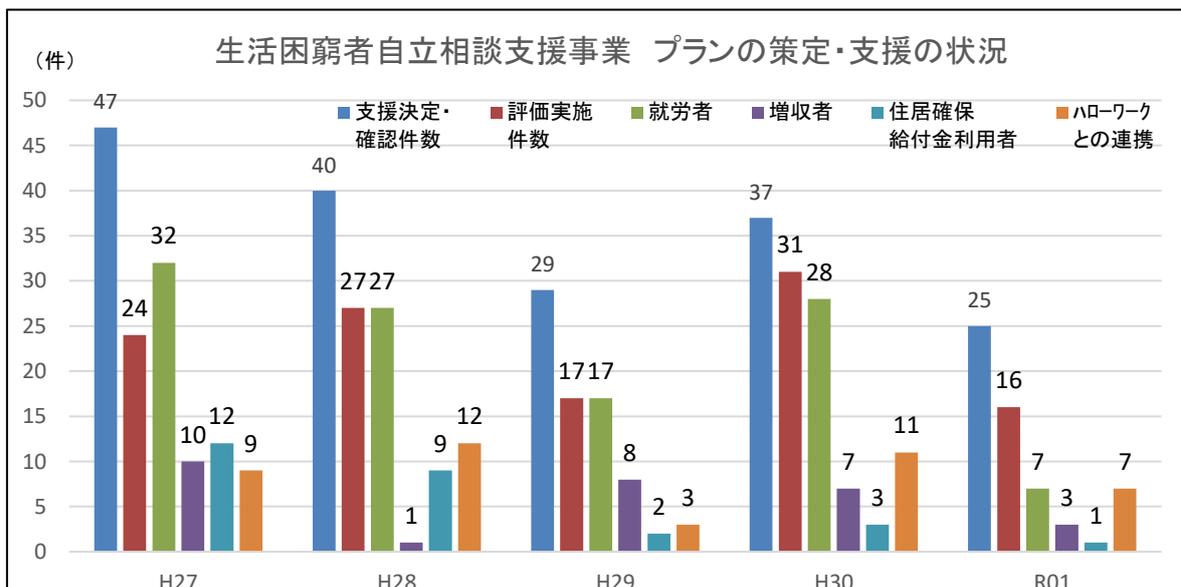
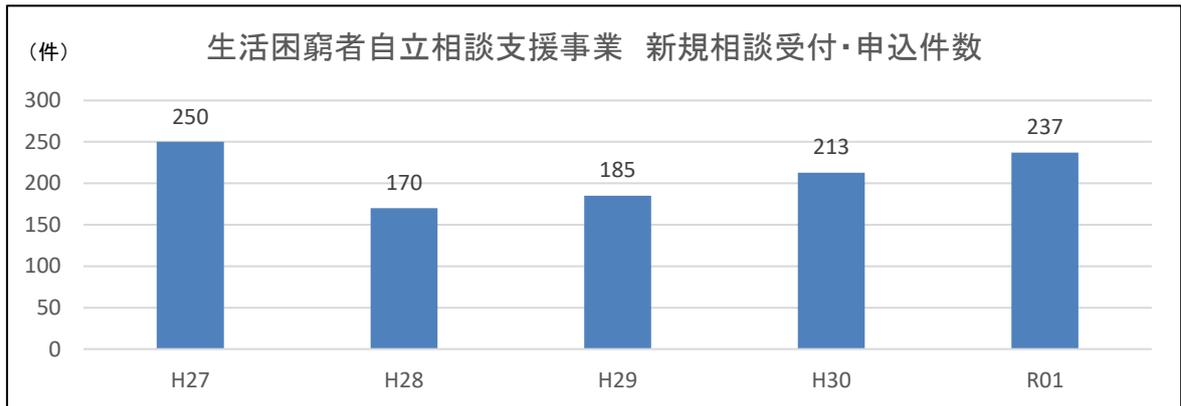
参考資料

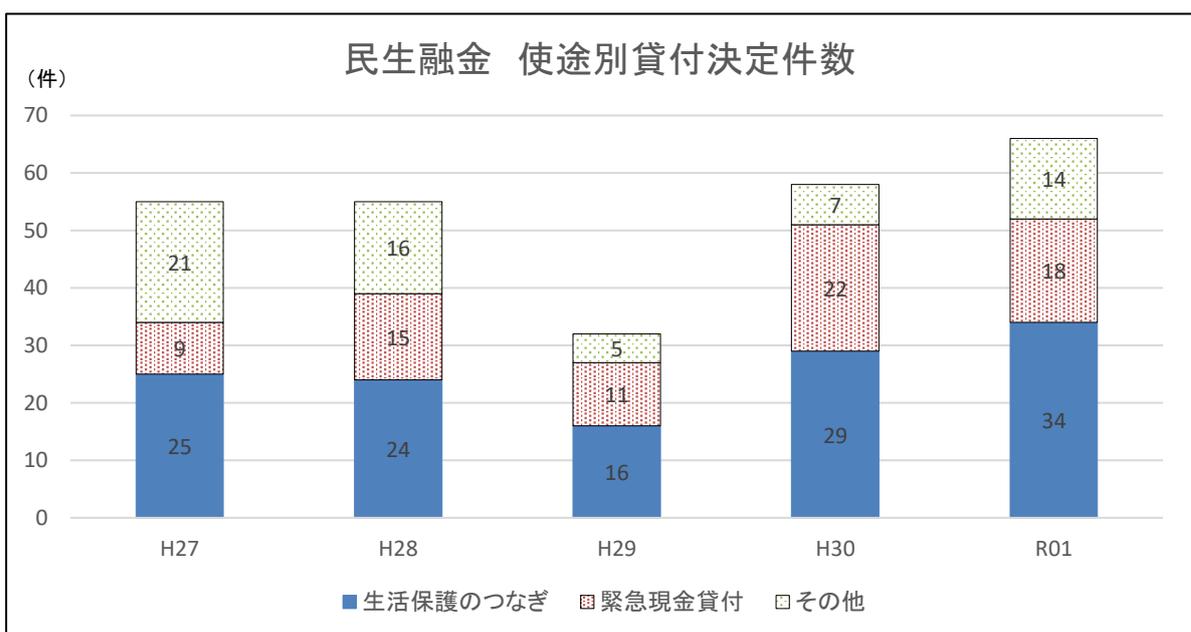
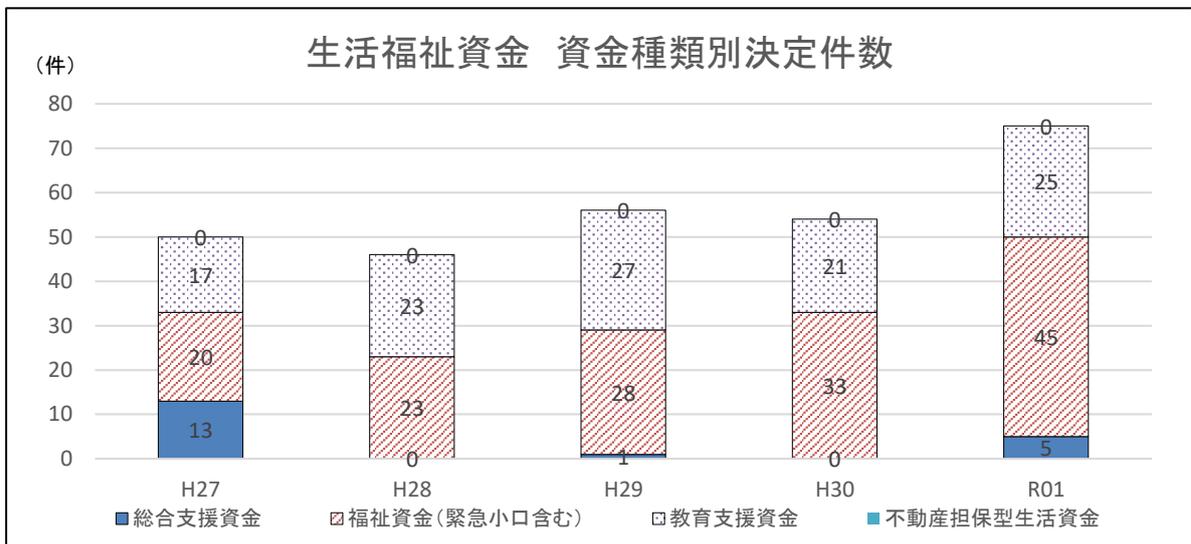
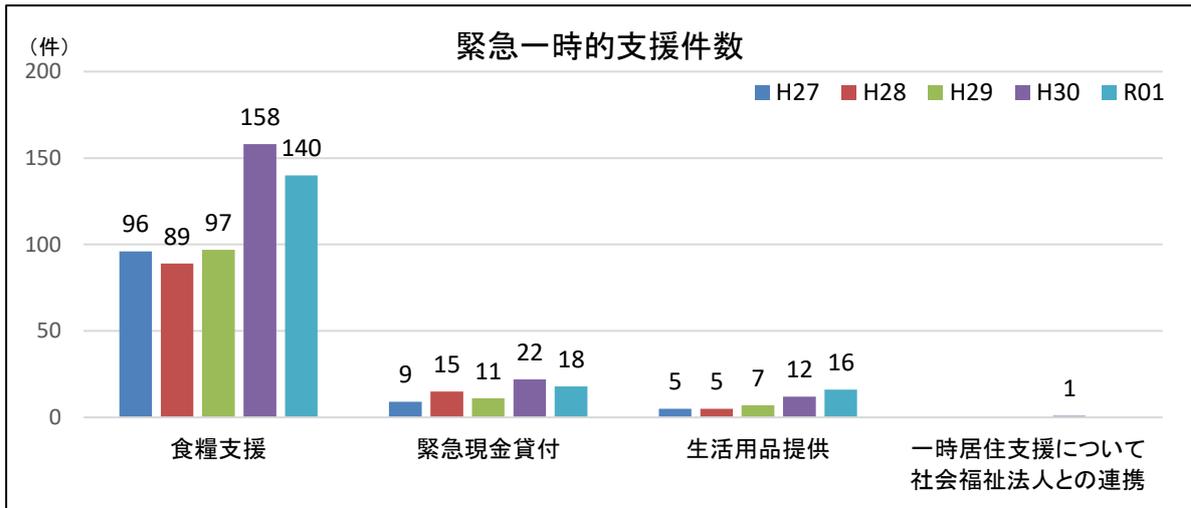
個別支援（安心づくり）

○身近な相談窓口

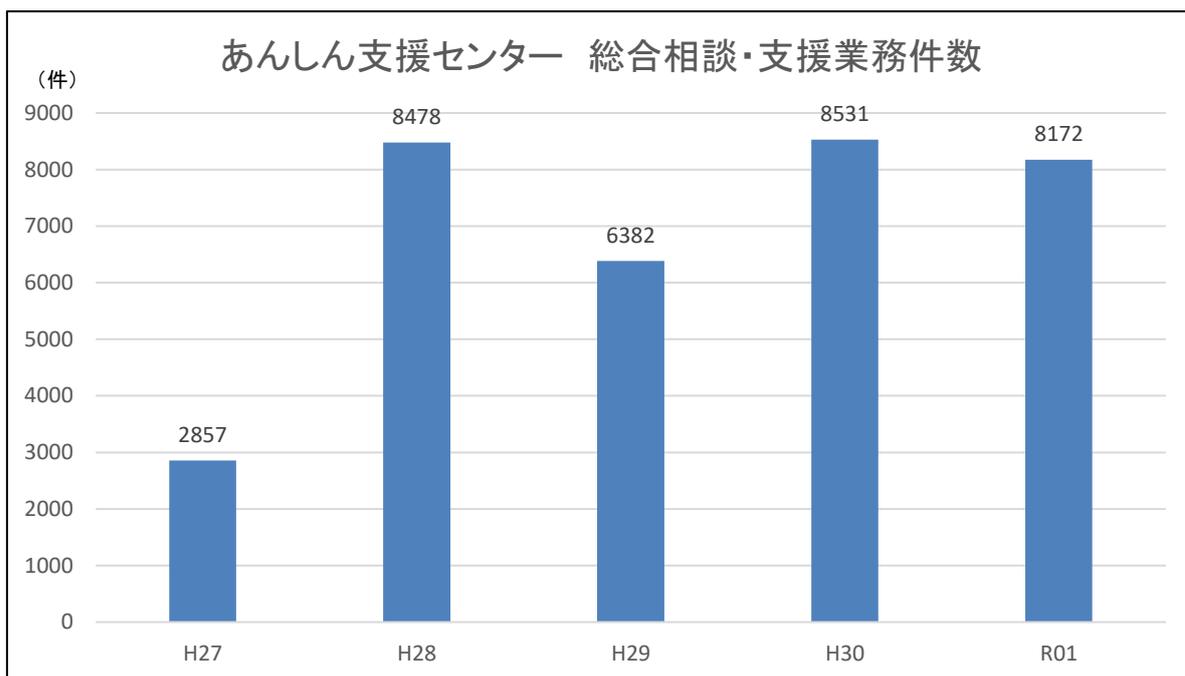


○生活困窮者等に対する支援

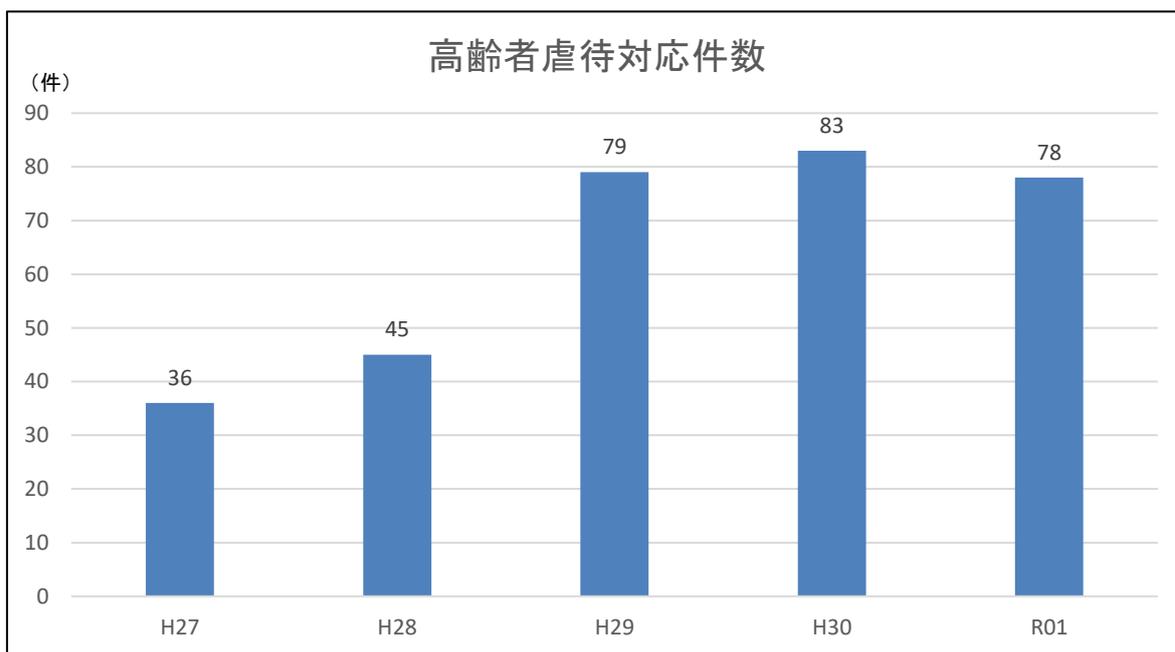




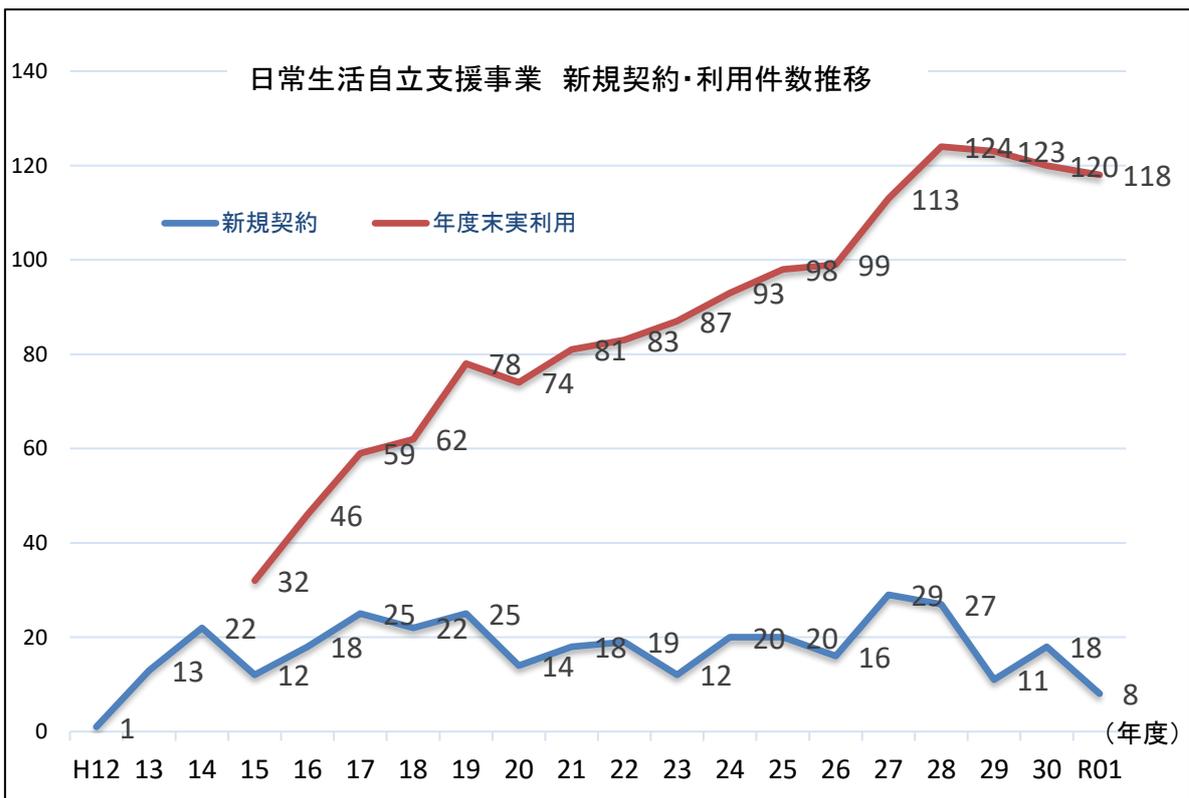
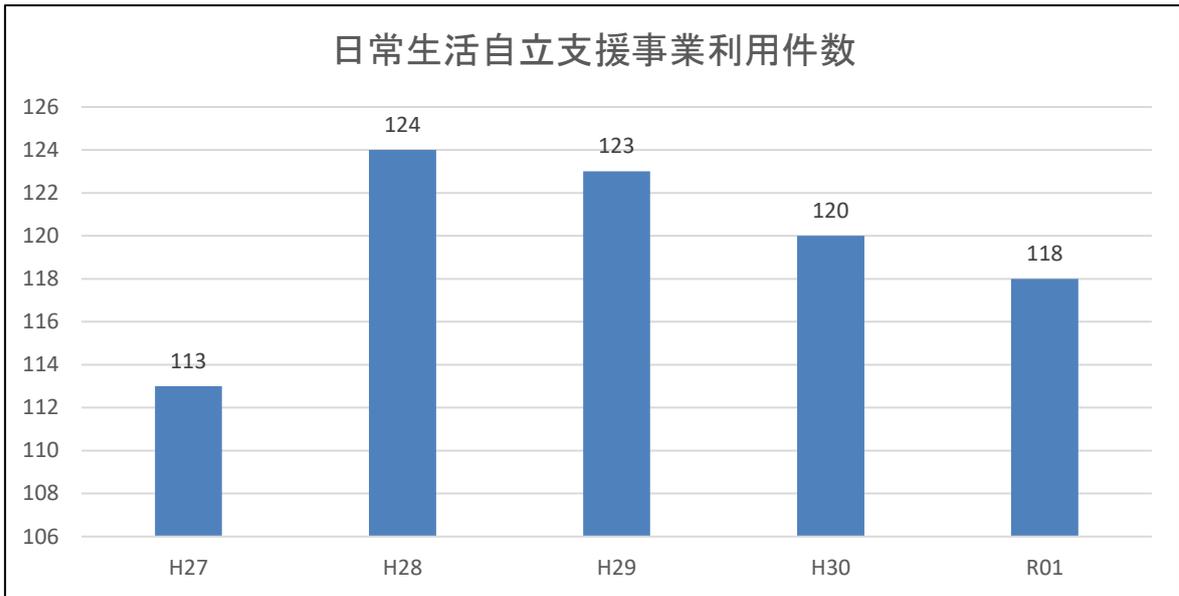
○高齢者に対する包括的な支援



* H27までは実数、H28以降は延べ件数。

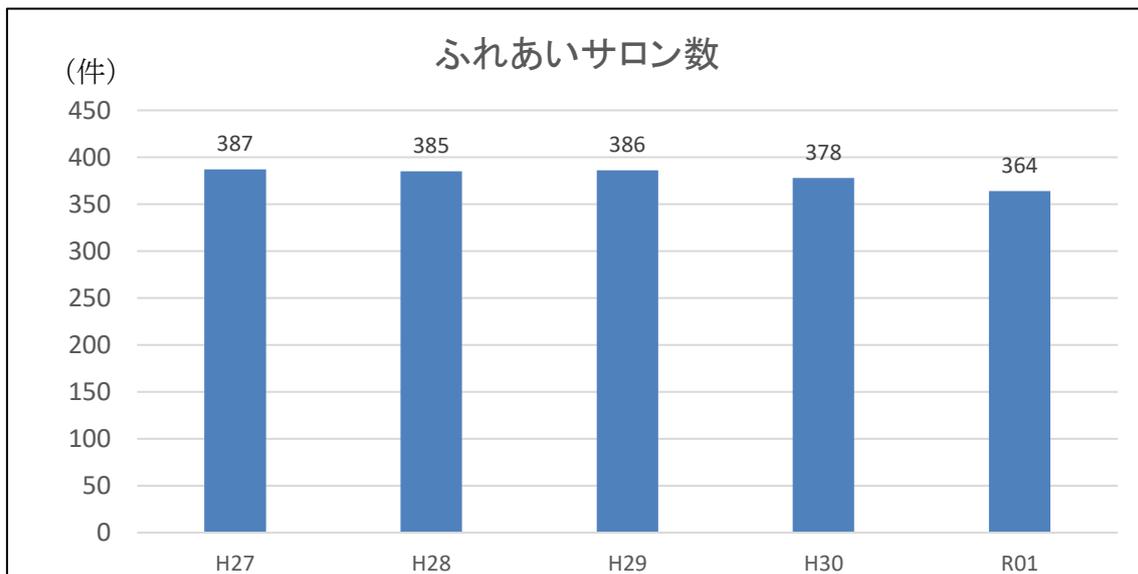
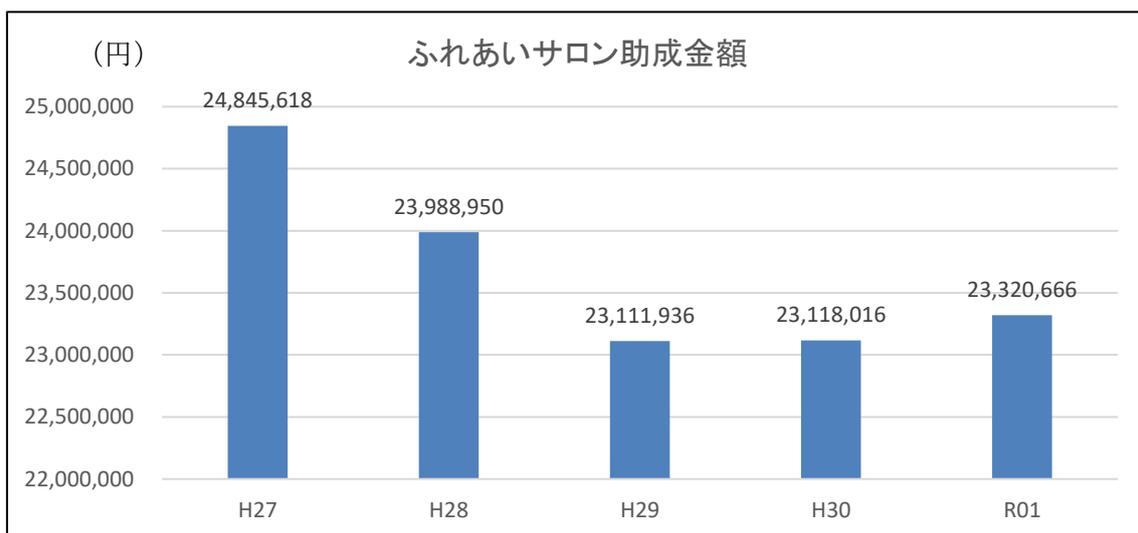
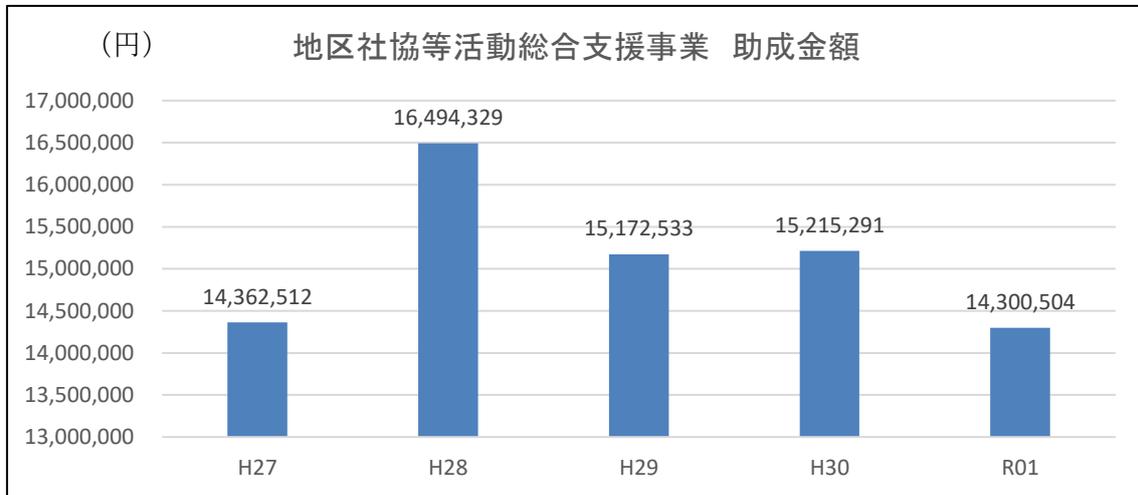


○権利擁護を必要とする人に対する支援

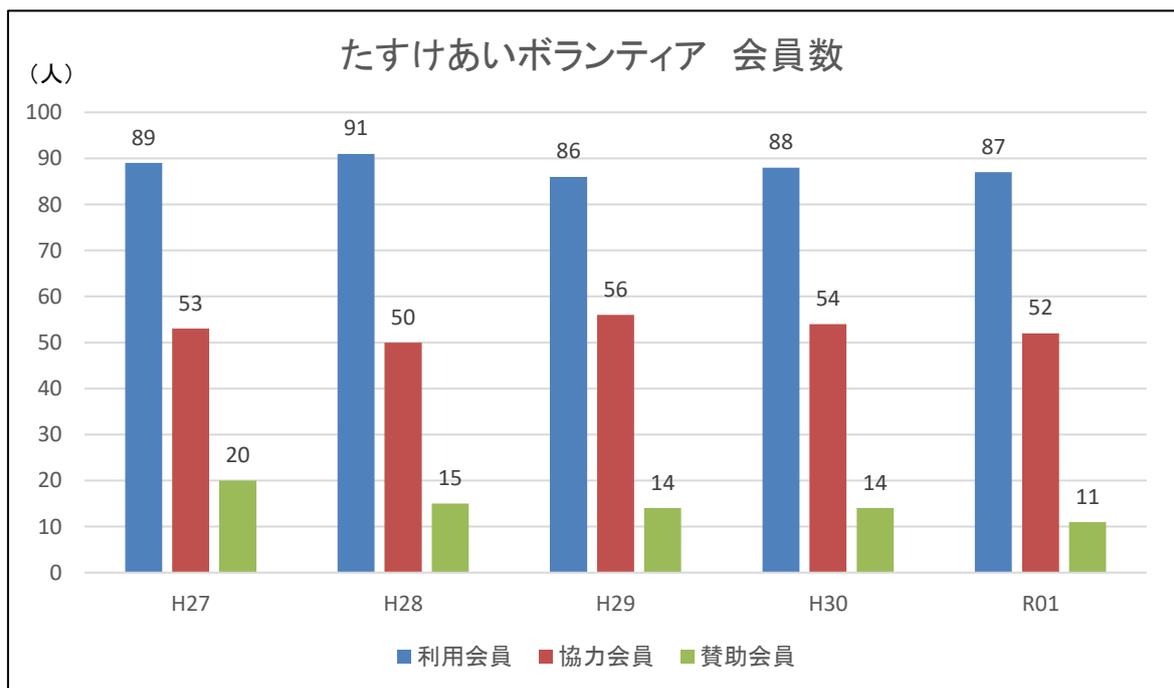
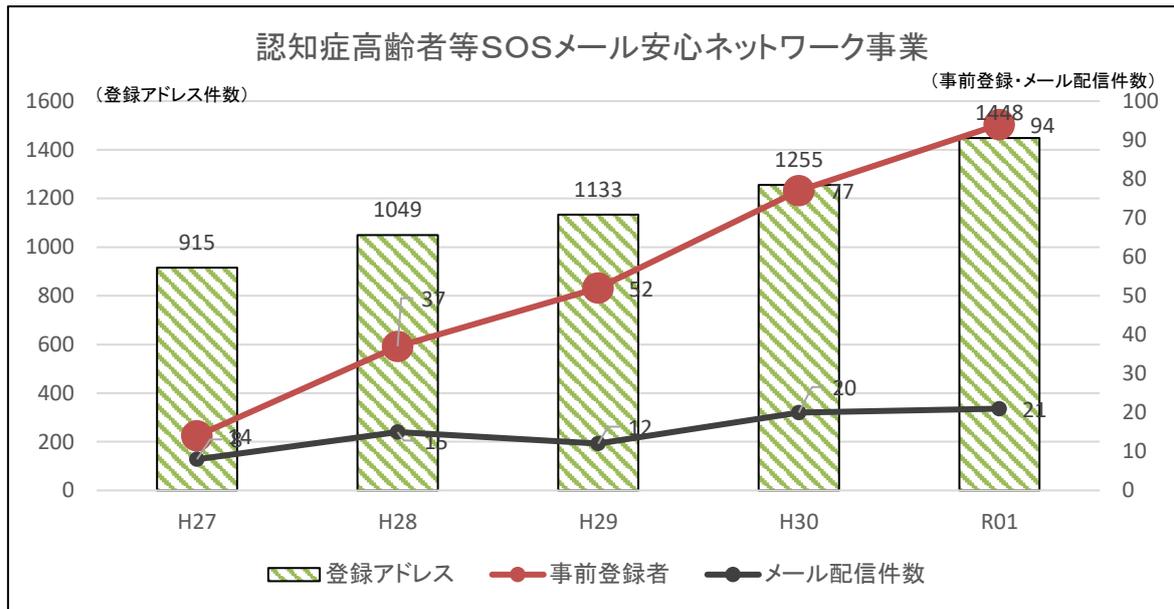


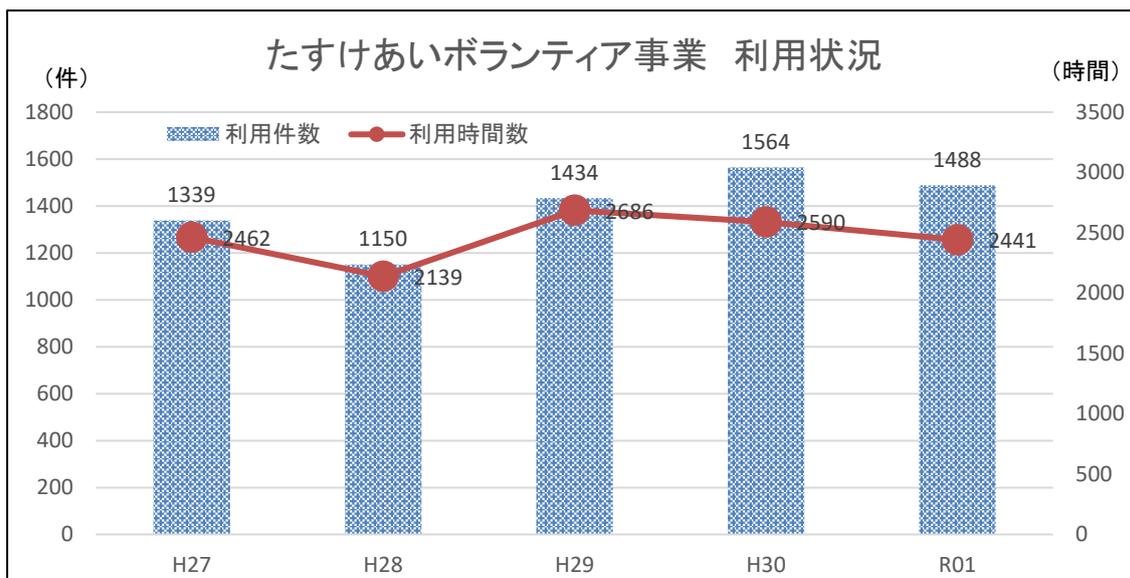
地域支援（地域づくり）

○地域住民の主体的な福祉活動の推進

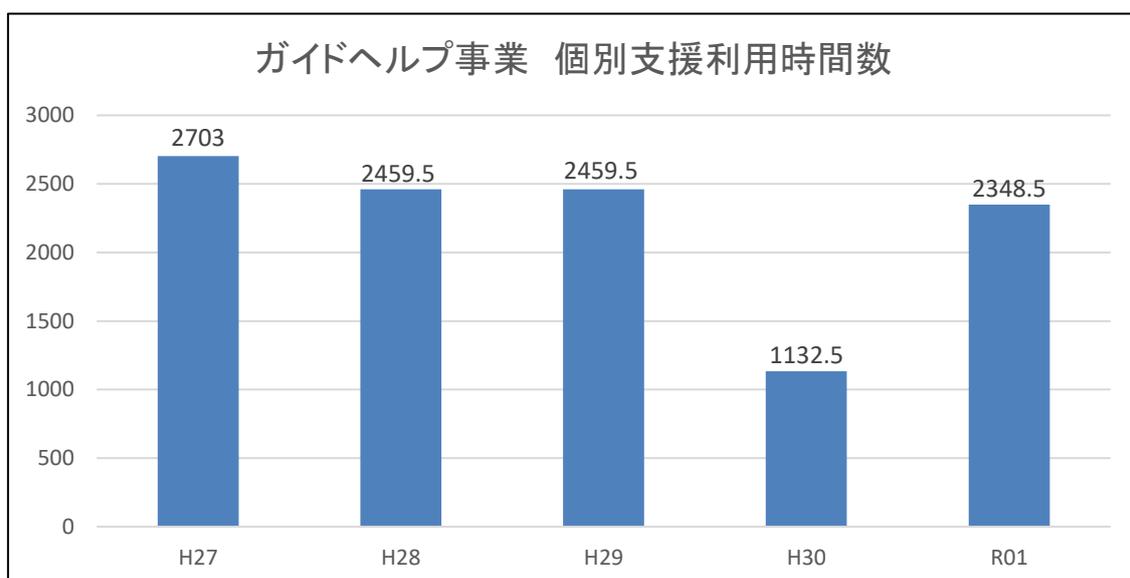
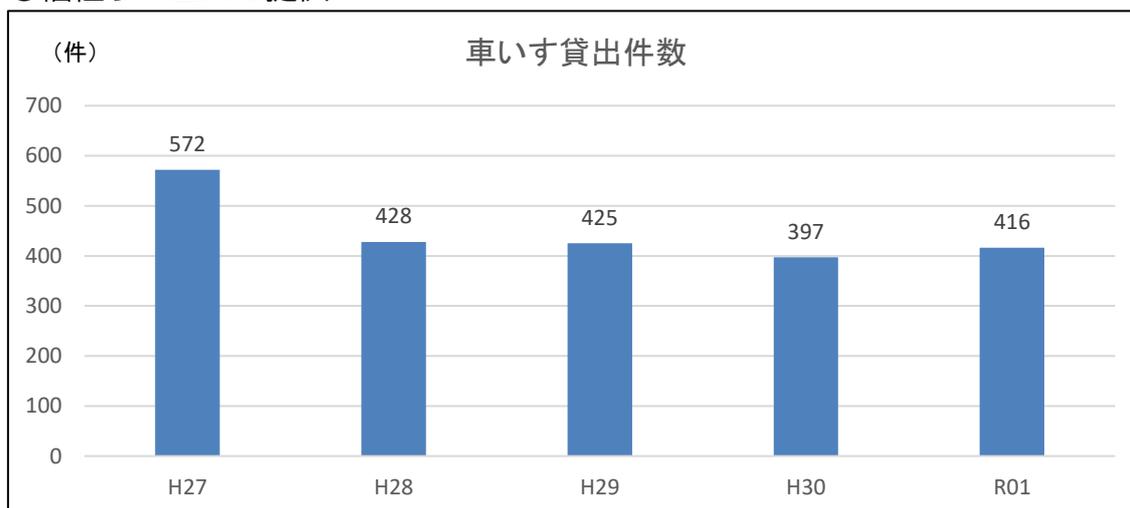


○地域住民等の参加と協働による福祉のまちづくりの推進



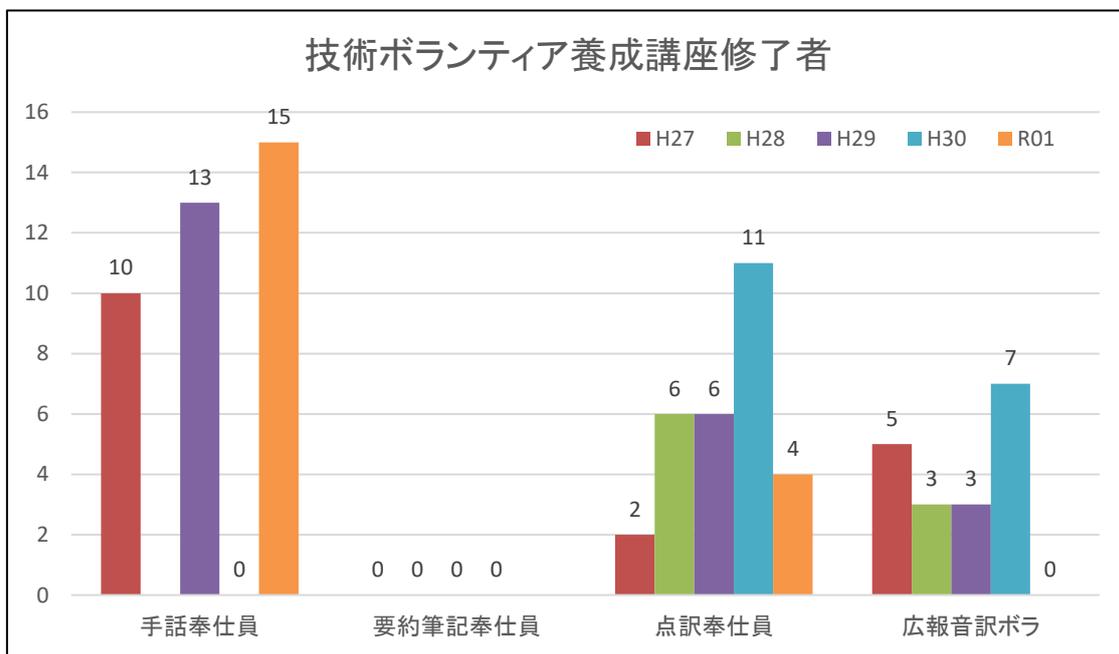
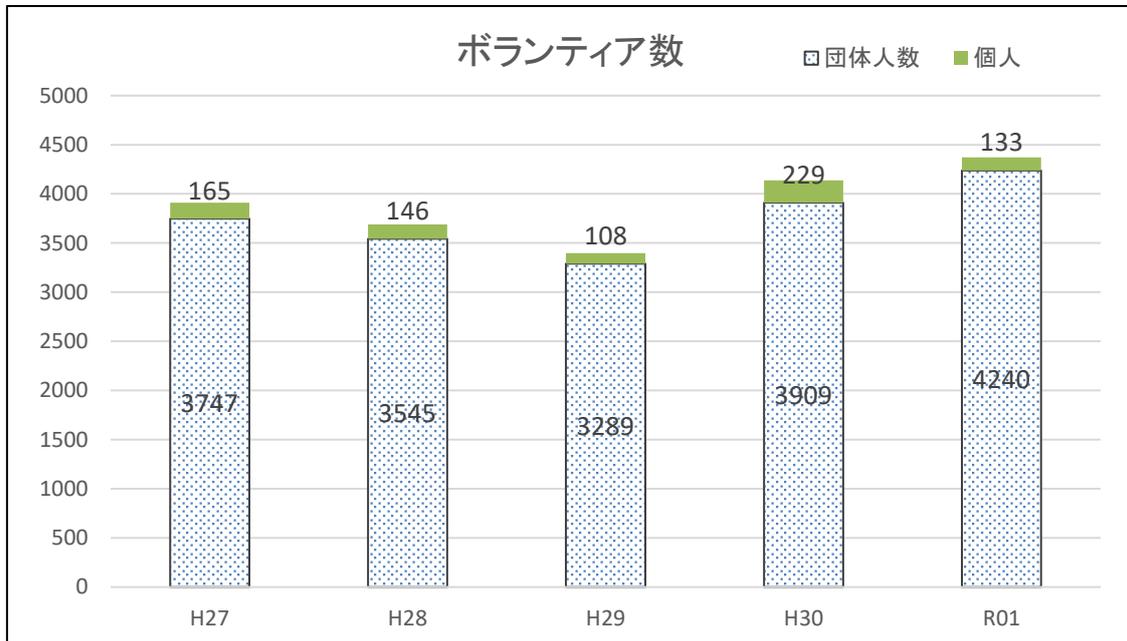


○福祉サービスの提供

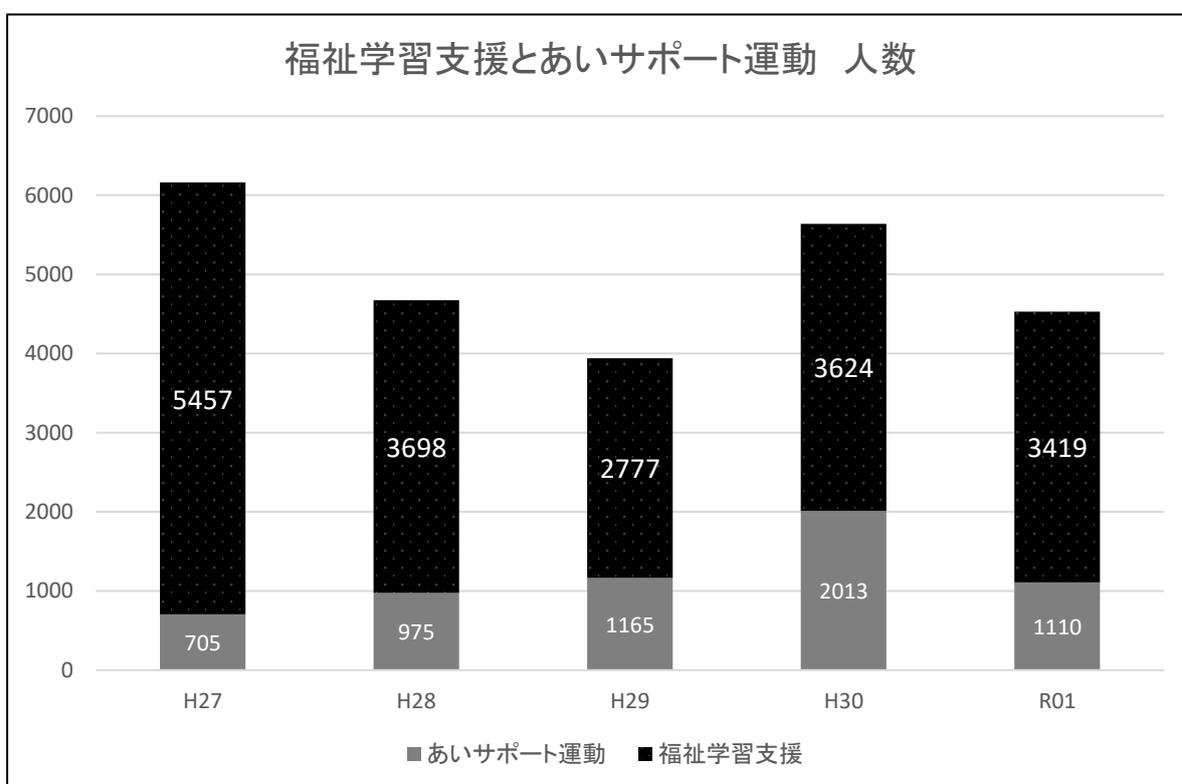
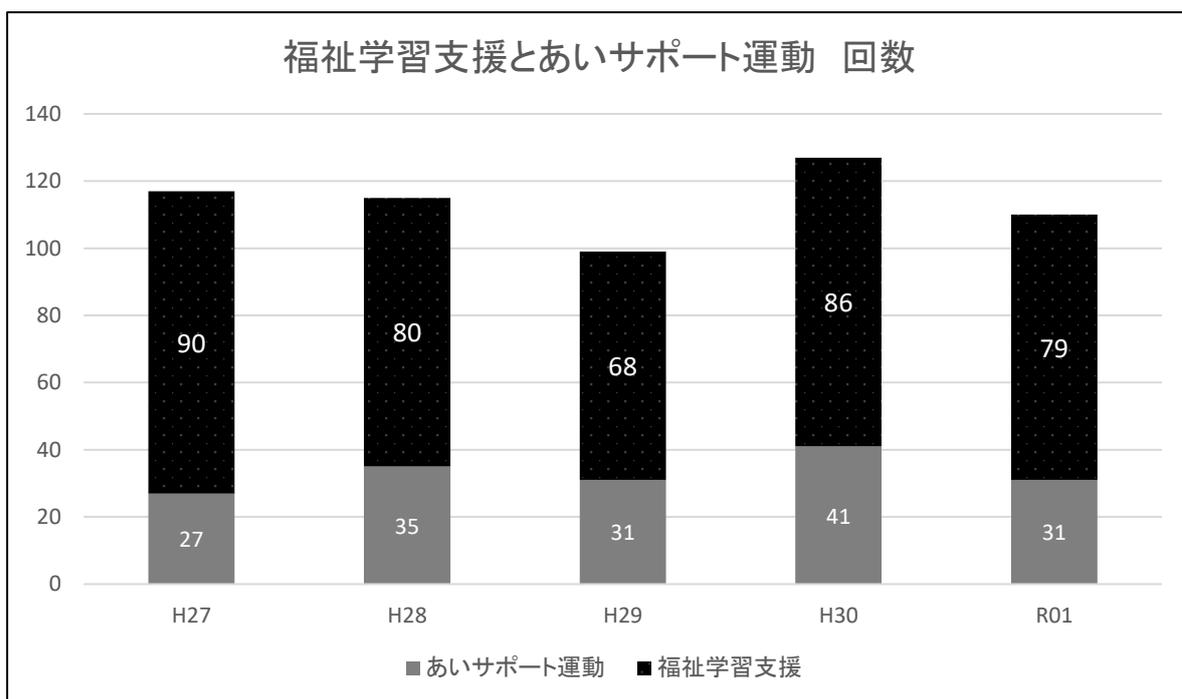


人材育成（人づくり）

○ボランティア活動の促進

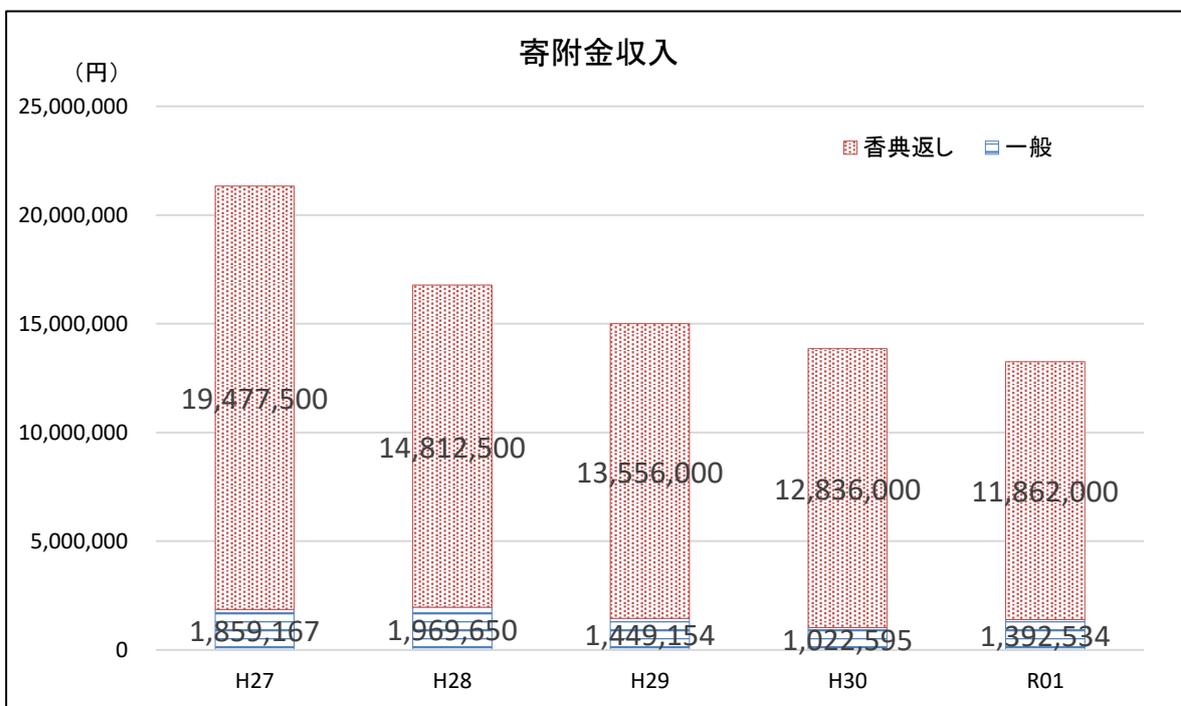
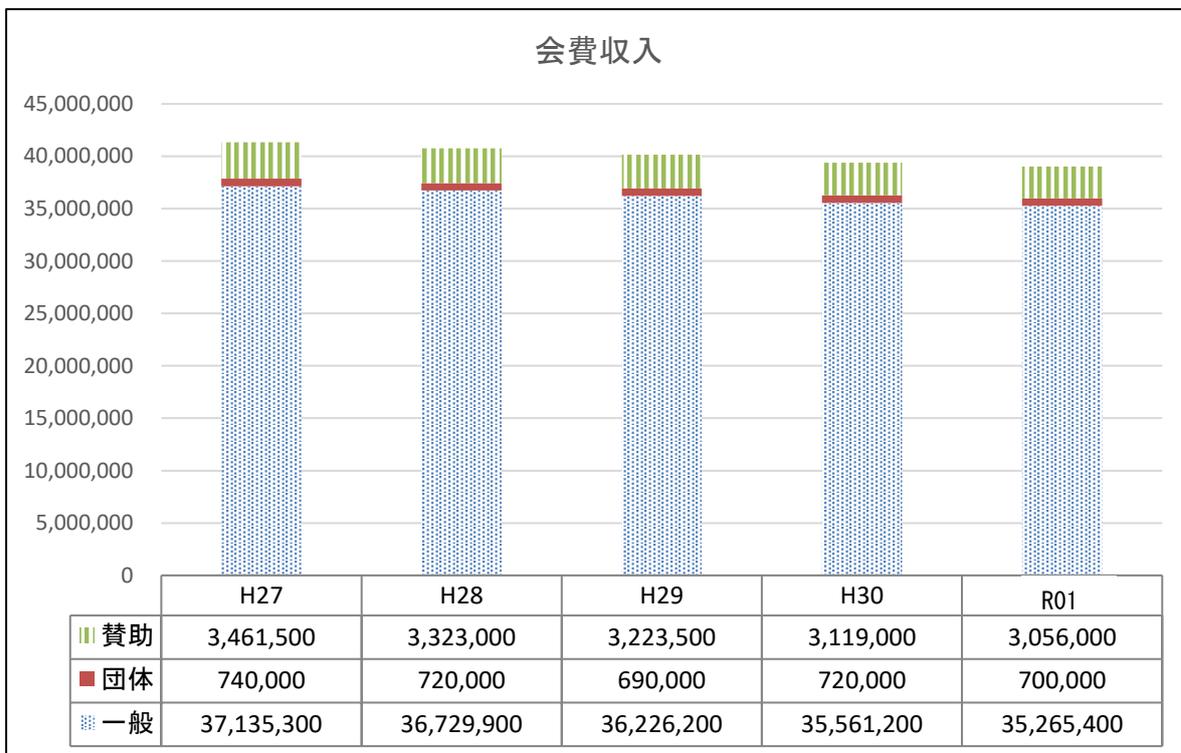


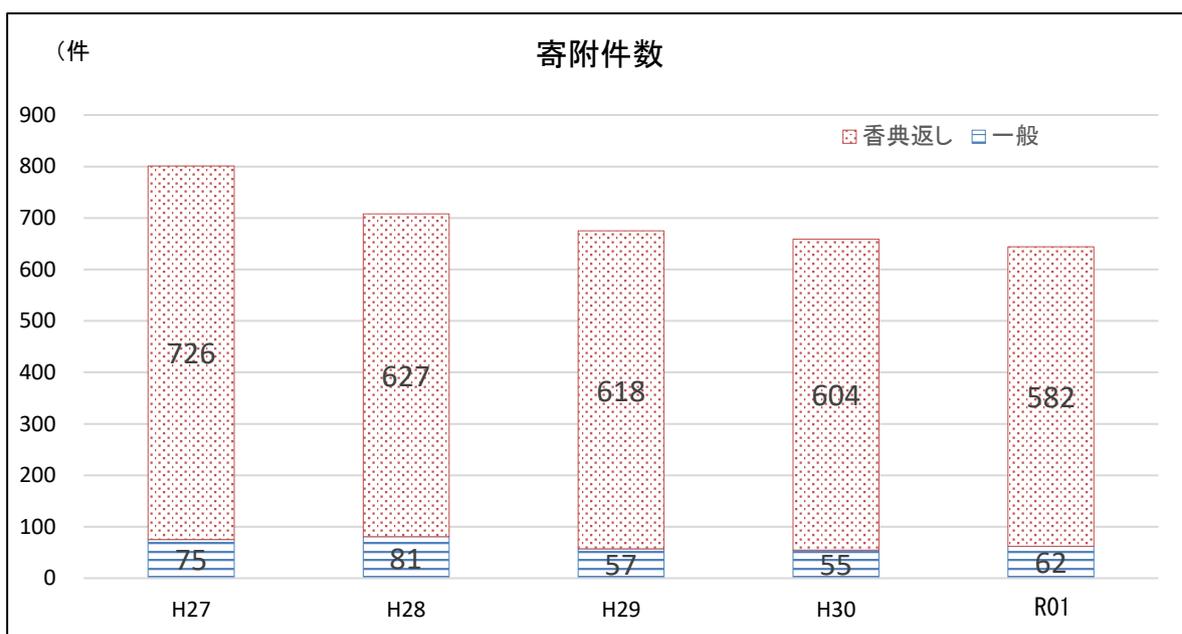
○福祉教育の推進



法人運営

○信頼にこたえる法人運営





職員配置状況

	本所	平田	佐田	多伎	湖陵	大社	斐川
事務局長	1						
事務局次長	1						
総務課	8						
地域福祉課	10	3	2	2	2	2	3
企画課	3						
生活支援課	7						
権利擁護 C	7	(兼)					(兼)
あんしん支援 C	24	8			6	7	6
合計	61	11	2	2	8	9	9

(令和2年3月31日現在)